

総括表

2024年度 OIT MDASH（リテラシー） 自己点検評価 総括表

1.学内からの視点での点検・評価

No	評価項目	評価の観点 評価基準	点検結果/評価結果		評価 レベル
			内 容	測定ツール	
1	プログラムの履修・修得状況 補足資料1	学生の履修状況の分析が実施できているか。	本プログラム開始3年目を迎える今年度において、収容定員に対する履修率は既に100%（延数）を上回り、良好に推移している。この成果に、入学初年度の履修状況がいずれの学部も100%近い履修率であることが大きく寄与していると分析している。	履修・成績データ	A
2	学修成果 補足資料2	学修成果を測定する仕組みを整え活用しているか。	シラバスでは授業計画で何を学ぶかを具体的に示し、適切な到達目標を設定している。独自アンケートでは、該当する授業回の理解度を問う設問により、学修成果を把握し、教務委員会（全学・各学部）で評価・改善に活用している。	独自アンケート 【理解度を問う「設問1」】	A
3	学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度 補足資料2	学生の理解度を確認しているか。	本教育プログラム受講者全員に対して実施している独自アンケートの該当する授業回の理解度を問う設問により、学生の理解度を把握している。アンケート結果では「よく理解できた」「ある程度理解できた」と回答した学生が7～8割を占めたほか、肯定的な意見が確認され、概ね理解できていると考えられる。	独自アンケート 【理解度を問う「設問1」】	A
4	学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度 補足資料2	MDASHに対する重要度を把握しているか。	本教育プログラム受講者全員に対して実施している独自アンケートの該当する授業回の重要度を問う設問により、本教育プログラムを通して学んだことを後輩に伝え、推奨していく期待度を確認している。アンケートでは、OIT MDASHに關係する授業回の受講前後と比べ、重要性の認識が高まったかについて問い、その結果は学部間に多少の差が存在するものの、「かなり高まった」「ある程度高まった」が7～8割を占め、後輩に伝え受講を推奨していくことに期待ができる結果となった。	独自アンケート 【重要度を問う「設問3」】	A
5	全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況 補足資料2	履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況を確認できているか。また、学生に教育プログラムの履修を促す取組みが行われているか。	履修率向上には、初年次の段階でいかにMDASHに対する認識を持たせることが重要であり、今年度も引き続き入学時当初の新入生ガイダンスにおいて案内チラシの配付・説明を実施し、原則履修の周知徹底を図っていく。	履修・成績データ	A
6	数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」の理解の浸透 補足資料2	MDASHに対する興味・関心度を把握しているか。	本教育プログラムを構成する科目群では、学生の関心が高い専門分野の事例等を交え、また座学に留まらないアクティブな手法（グループワーク等）を取り入れるなどして、学びの楽しさを実感できるようにそれぞれ工夫している。その成果については、独自アンケートの該当する授業回の興味・関心度を問う設問により把握し、学部間に多少の差が存在するものの、「かなり高まった」「ある程度高まった」が7～8割を占める結果となり、概ね肯定的な結果となっている。	独自アンケート 【興味・関心度を問う「設問2」】	A
7	内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすさ」授業とすること 補足資料2	授業の「分かりやすさ」の視点に立った学生の反応を把握しているか。	本教育プログラム受講者全員に対して実施している独自アンケートの該当する授業回の授業の分かりやすさを問う設問により、学生の反応をダイレクトに収集している。「強くそう思う」「ややそう思う」が約7～8割を占める結果となり概ね肯定的な結果となっている。さらに、当該授業に関する改善要望の有無を問う設問も用意し、真摯に向き合う姿勢を示している。大半が肯定的な意見が占めるなか、一部に「授業のスピードが速い」といった否定的な意見が見受けられたが、専門教育の学びにリンクする事例を多く取り入れたり、配布資料を穴埋め形式にして要点を記入させたりするなど工夫が凝らされた科目も見受けられ、良好な結果が得られた事例も確認された。それらの成功例も参考に、アンケート結果を学内全体に共有し、プログラム全体の内容・水準向上に向けて取り組んでいく。	独自アンケート 【授業の分かりやすさを問う「設問4」】 【改善要望の有無・内容を問う「設問5」】	A

2.学外からの視点での点検・評価

No	評価項目	評価基準	内 容	測定ツール	評価レベル
8	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	就職先等の関係者から意見聴取を行い、社会からのニーズ等を把握できているか。	本学では自己評価・IR委員会において外部評価委員も加わり産業界からの視点も含めた教育課程に対する検証が図れる仕組みとなっている。本教育プログラムは2022年度から一斉実施しているものの、実質的に多数の修了者を輩出する年度は2025年度のため適正な評価が可能となる年度に達していない。しかし、「卒業生アンケート」（卒業後3年目対象）および「企業アンケート」に関連する設問を追加しており、本プログラム修了生を輩出する前段階で可能な限りニーズの把握に努めている。	企業アンケート、卒業生アンケートにMDASHに（データリテラシー）に関する設問を設定。 ○設問内容 データを読み、分析・解釈し、その知見をデータに基づいて説明することができる。 企業アンケート：新卒採用にあたって重視する項目の選択肢として設定。 卒業生アンケート：入社時と現在の資質・能力の自己評価の一つに設定。	A
9	産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	外部者による検証が実施されているか。	本学の教育の質保証にかかる自己点検・評価では、外部評価委員会を設置し年1回定期的に実施しており、本教育プログラムも同委員会に諮り評価や意見を収集している。外部委員からは、「学生の意見を反映し、PDCAを回している」等の肯定的な意見をいただいた。得られた意見については教務委員会を通じて全学的に共有し、更なる改善を図っていく。	自己評価・IR委員会の小委員会（全学教務委員会で実施した本教育プログラムの自己点検結果への評価を問う項目を含める）	A

【評価レベル】

- A 評価基準に示している内容について、優れた点があり、十分に行われている。
- B 評価基準に示している内容について、概ね行われており、相応である。
- C 評価基準に示している内容について、改善の必要がある。

【補足資料】

- 1 プログラムの履修者数等の実績
- 2 OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 【学部別】

2024年度 OIT MDASH(リテラシー) 自己点検 履修者数等実績 (収容定員に占める履修率 [文科省申請時])

○対象となる履修者:2022年度以降入学生

※ 履修者数は、前・後期開講科目を対象に算出

学部	実施年度		2022		2023		2024		2025		2026		2027		合計			
	収容定員	履修者数	履修率	修了者数	履修者数	履修率	修了者数	履修者数	履修率	修了者数	履修者数	履修率	修了者数	履修者数	履修率	修了者数		
工学部	3,680	899	24.4%	0	1,023	27.8%	90	1,577	42.9%	506		%			3,499	95.1%	596	17.0%
ロボティクス&デザイン学部	1,150	295	25.7%	0	504	43.8%	153	554	48.2%	183		%			1,353	117.7%	336	24.8%
情報科学部	1,880	431	22.9%	0	621	33.0%	0	1,015	54.0%	241		%			2,067	109.9%	241	11.7%
知的財産学部	580	142	24.5%	0	185	31.9%	5	319	55.0%	35		%			646	111.4%	40	6.2%
計	7,290	1,767	24.2%	0	2,333	32.0%	248	3,465	47.5%	965		0.0%			7,565	103.8%	1,213	16.0%

注1 収容定員は、3年次編入学定員を含めている。

注2 各年度の履修率は、収容定員数に占める割合を示す。

注3 合計の履修率は、2022～2024年度の履修者数(延べ人数)の合計を、収容定員(1年分)で除した値。同一学生が複数年履修している場合は重複してカウントされる。

注4 合計の修了率は、2022～2024年度の修了者数を、同期間の履修者数(延べ人数)の合計で除した値。履修者数には、同一学生が複数年にわたり履修している場合も重複してカウントされる。

2024年度 OIT MDASH(リテラシー) 自己点検 履修者数等実績(入学年度別履修率[学内資料])

※ 履修者数は、前・後期間講科目を対象に算出

入学年度	学部	MDASH履修者数・修了者数																								
		2022年度				2023年度				2024年度				2025年度				2026年度				2027年度				
		履修者数 (※1)	在籍者数 (5/1現在)	在籍者数に 占める割合	修了者数 (※2)	履修者数 (※1)	在籍者数 (5/1現在)	在籍者数に 占める割合	修了者数 (※2)	履修者数 (※1)	在籍者数 (5/1現在)	在籍者数に 占める割合	修了者数 (※2)	履修者数 (※1)	在籍者数 (5/1現在)	在籍者数に 占める割合	修了者数 (※2)	履修者数 (※1)	在籍者数 (5/1現在)	在籍者数に 占める割合	修了者数 (※2)	履修者数 (※1)	在籍者数 (5/1現在)	在籍者数に 占める割合	修了者数 (※2)	
2022年度入学	工学部	899	920	97.7%	122	907	13.5%	90	513	867	59.2%	412														
	R&D学部	295	299	98.7%	194	296	65.5%	153	49	290	16.9%	36														
	情報科学部	431	439	98.2%	157	425	36.9%	0	391	407	96.1%	241														
	知的財産学部	142	143	99.3%	38	147	25.9%	5	107	145	73.8%	16														
2023年度入学	工学部	1,767	1,801	98.1%	511	1,775	28.8%	248	1,060	1,709	62.0%	705														
	R&D学部				901	921	97.8%		160	881	18.2%	94														
	情報科学部				310	314	98.7%		204	305	66.9%	147														
	知的財産学部				147	150	98.0%		71	149	47.7%	19														
2024年度入学	工学部				1,822	1,859	98.0%		595	1,787	33.3%	260														
	R&D学部								904	909	99.4%															
	情報科学部								301	301	100.0%															
	知的財産学部								464	466	99.6%															
2025年度入学	工学部								141	146	96.6%															
	R&D学部								1,810	1,822	99.3%															
	情報科学部																									
	知的財産学部																									
計																										

※ 修了要件に該当する授業科目の履修者
 ※ 編入学生は、本学卒業時の所属学部における修了要件を満たす者(認定科目を除く。)

補足資料2

OIT MDASH(リテラシー)自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【工学部】

赤字または青字は全学科平均以上を示す
網掛けの科目は後期開講科目を示す

設問1 OIT MDASHに關係する授業回の内容はどの程度理解できましたか。

項目	全学科平均	都市デザイン工学科				建築学科			機械工学科				電気電子システム工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 技術者倫理A組	心得 技術者倫理B組	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 キャリア形成支援	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理イ組	心得 工学倫理ロ組	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 技術者倫理
1 よく理解できた	27%	29%	25%	21%	31%	29%	20%	35%	20%	25%	41%	45%	21%	19%	33%
2 ある程度理解できた	55%	58%	53%	68%	69%	63%	45%	62%	56%	59%	51%	38%	66%	52%	60%
3 どちらとも言えない	15%	10%	18%	11%	0%	8%	27%	3%	22%	14%	4%	18%	11%	22%	7%
4 あまり理解できなかった	3%	3%	3%	0%	0%	0%	5%	0%	2%	4%	0%	0%	2%	5%	0%
5 まったく理解できなかった	0%	0%	1%	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	2%	0%
<参考> 回答率	80%	91%	87%	83%	54%	75%	82%	71%	84%	88%	72%	68%	85%	77%	79%
回答者数	2027	90	87	62	13	103	113	52	138	150	49	44	105	95	30
受講者数	2542	99	100	75	24	137	137	73	164	171	68	65	123	124	38

項目	全学科平均	電子情報システム工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 情報社会と倫理
1 よく理解できた	27%	17%	20%	18%
2 ある程度理解できた	55%	50%	67%	70%
3 どちらとも言えない	15%	27%	8%	7%
4 あまり理解できなかった	3%	5%	5%	5%
5 まったく理解できなかった	0%	1%	0%	0%
<参考> 回答率		94%	81%	53%
回答者数		111	90	60
受講者数		118	111	114

項目	全学科平均	応用化学科			環境工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 環境倫理
1 よく理解できた	27%	30%	31%	52%	57%	19%	22%
2 ある程度理解できた	55%	57%	46%	46%	43%	53%	67%
3 どちらとも言えない	15%	11%	20%	0%	0%	24%	9%
4 あまり理解できなかった	3%	2%	3%	1%	0%	4%	0%
5 まったく理解できなかった	0%	0%	0%	1%	0%	0%	2%
<参考> 回答率		95%	89%	72%	31%	80%	83%
回答者数		111	101	84	23	59	58
受講者数		117	113	117	74	74	70

項目	全学科平均	生命工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理
1 よく理解できた	27%	34%	30%	16%
2 ある程度理解できた	55%	40%	39%	56%
3 どちらとも言えない	15%	12%	17%	23%
4 あまり理解できなかった	3%	12%	14%	5%
5 まったく理解できなかった	0%	2%	0%	0%
<参考> 回答率		92%	81%	79%
回答者数		73	64	62
受講者数		79	79	78

設問2 OIT MDASHに關係する授業回の受講により数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心が高まりましたか。

項目	全学科平均	都市デザイン工学科				建築学科			機械工学科				電気電子システム工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 技術者倫理A組	心得 技術者倫理B組	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 キャリア形成支援	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理イ組	心得 工学倫理ロ組	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 技術者倫理
1 かなり高まった	25%	22%	17%	16%	38%	36%	17%	37%	25%	33%	36%	22%	18%	57%	
2 ある程度高まった	53%	54%	52%	68%	54%	52%	45%	50%	55%	53%	57%	41%	55%	37%	
3 どちらとも言えない	17%	20%	20%	16%	8%	10%	25%	13%	15%	19%	8%	20%	16%	6%	
4 あまり高まらなかった	4%	3%	11%	0%	0%	2%	10%	0%	4%	3%	2%	2%	6%	0%	
5 まったく高まらなかった	1%	1%	0%	0%	0%	0%	3%	0%	1%	0%	0%	1%	1%	0%	

項目	全学科平均	電子情報システム工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 情報社会と倫理
1 かなり高まった	25%	22%	28%	18%
2 ある程度高まった	53%	60%	54%	70%
3 どちらとも言えない	17%	13%	13%	8%
4 あまり高まらなかった	4%	5%	3%	3%
5 まったく高まらなかった	1%	0%	2%	1%

項目	全学科平均	応用化学科			環境工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 環境倫理
1 かなり高まった	25%	31%	23%	48%	30%	12%	29%
2 ある程度高まった	53%	53%	45%	48%	70%	64%	53%
3 どちらとも言えない	17%	11%	26%	3%	0%	17%	16%
4 あまり高まらなかった	4%	5%	4%	1%	0%	5%	0%
5 まったく高まらなかった	1%	0%	2%	0%	0%	2%	2%

項目	全学科平均	生命工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理
1 かなり高まった	25%	25%	25%	11%
2 ある程度高まった	53%	52%	45%	58%
3 どちらとも言えない	17%	15%	23%	26%
4 あまり高まらなかった	4%	8%	6%	5%
5 まったく高まらなかった	1%	0%	1%	0%

設問3 数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性について、OIT MDASHに關係する授業回を受講して、受講前と比較して高まりましたか。

項目	全学科平均	都市デザイン工学科				建築学科			機械工学科				電気電子システム工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 技術者倫理A組	心得 技術者倫理B組	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 キャリア形成支援	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理イ組	心得 工学倫理ロ組	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 技術者倫理
1 かなり高まった	25%	31%	17%	18%	15%	43%	16%	37%	20%	23%	36%	24%	21%	47%	
2 ある程度高まった	55%	49%	60%	65%	77%	50%	54%	54%	59%	61%	51%	48%	62%	46%	
3 どちらとも言えない	14%	20%	18%	16%	8%	5%	23%	8%	17%	15%	8%	16%	10%	3%	
4 あまり高まらなかった	3%	0%	5%	1%	0%	2%	5%	1%	4%	1%	2%	0%	4%	3%	
5 まったく高まらなかった	3%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

項目	全学科平均	電子情報システム工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 情報社会と倫理
1 かなり高まった	25%	19%	26%	22%
2 ある程度高まった	55%	59%	59%	63%
3 どちらとも言えない	14%	18%	10%	12%
4 あまり高まらなかった	3%	4%	4%	3%
5 まったく高まらなかった	3%	0%	1%	0%

項目	全学科平均	応用化学科			環境工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 環境倫理
1 かなり高まった	25%	23%	24%	50%	35%	19%	28%
2 ある程度高まった	55%	67%	51%	46%	57%	59%	55%
3 どちらとも言えない	14%	8%	21%	2%	8%	17%	16%
4 あまり高まらなかった	3%	2%	3%	1%	0%	5%	0%
5 まったく高まらなかった	3%	0%	1%	1%	0%	0%	1%

項目	全学科平均	生命工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理
1 かなり高まった	25%	23%	25%	18%
2 ある程度高まった	55%	51%	52%	68%
3 どちらとも言えない	14%	18%	14%	13%
4 あまり高まらなかった	3%	7%	9%	1%
5 まったく高まらなかった	3%	1%	0%	0%

設問4 OIT MDASHに關係する授業回は、分かりやすい授業でしたか。

項目	全学科平均	都市デザイン工学科				建築学科			機械工学科				電気電子システム工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 技術者倫理A組	心得 技術者倫理B組	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 キャリア形成支援	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理イ組	心得 工学倫理ロ組	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 技術者倫理
1 強く思う	27%	30%	28%	18%	23%	36%	19%	50%	28%	25%	33%	48%	26%	26%	50%
2 やや思う	50%	57%	48%	65%	77%	52%	45%	40%	54%	55%	57%	41%	53%	37%	43%
3 どちらとも言えない	16%	11%	21%	17%	0%	1%	23%	10%	15%	17%	8%	11%	17%	26%	7%
4 あまりそう思わない	4%	1%	3%	0%	0%	1%	10%	0%	3%	3%	2%	0%	3%	6%	0%
5 まったくそう思わない	3%	1%	0%	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	5%	0%

項目	全学科平均	電子情報システム工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 情報社会と倫理
1 強く思う	27%	23%	27%	25%
2 やや思う	50%	48%	56%	58%
3 どちらとも言えない	16%	21%	14%	13%
4 あまりそう思わない	4%	7%	3%	3%
5 まったくそう思わない	3%	1%	0%	1%

項目	全学科平均	応用化学科			環境工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理	導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 環境倫理
1 強く思う	27%	32%	22%	51%	35%	20%	21%
2 やや思う	50%	52%	50%	46%	48%	56%	64%
3 どちらとも言えない	16%	12%	24%	1%	17%	17%	14%
4 あまりそう思わない	4%	4%	4%	1%	0%	7%	0%
5 まったくそう思わない	3%	0%	0%	1%	0%	0%	1%

項目	全学科平均	生命工学科		
		導入 キャリアデザイン	導入・基礎 基礎情報処理Ⅱ	心得 工学倫理
1 強く思う	27%	26%	20%	21%
2 やや思う	50%	42%	47%	53%
3 どちらとも言えない	16%	16%	16%	21%
4 あまりそう思わない	4%	15%	16%	5%
5 まったくそう思わない	3%	1%	1%	0%

設問5 OIT MDASHに關係する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)

別記参照

OIT MDASH (リテラシー) 自己点検 独自アンケート結果 2024年度【工学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関係する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)
都市デザイン 工学科	導入	キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・特にない ・受けられなかった為分からない。 ・先生の説明はわかりやすかったです! ・あまり土木関係は名前でも不人気感がありあまり知らないことばかりだったが、こういう授業をしていただき土木関係を知ることが出来て良かった ・聞いていないと分からないことが多く、知ってて損は無いと思った。 ・特にありません ・将来に繋がるAI技術などを詳しく学べて良かった ・自分の専門以外の部分の講義を受けれてよかった ・授業に使用したスライドが分かりやすかった。 ・土木工学においてのデータ・AIの活用だけでなく、社会全体で幅広く学ぶことができて良かったです。 ・AIの活用について理解出来た ・MDASHという言葉は初めて聞いたがこの授業を通して少しは理解することができた ・知らなかったAIなどについて知れて、とてもためになった。 ・名前も聞いたことがなかったけどある程度理解出来た ・この授業を通してAIについてわかるようになったからよかったと思います。 ・資料があったので、ネットで調べながら授業を受けれたのがよかったです。改善点は1回目の授業と2回目の授業のつながりがありはつきりしなかったと感じたことです。 ・知らないことをたくさん知れてよかった ・Uber EatsやNetflixなどの例を用いて解説してくれるので、非常に分かりやすかった。 ・初めて知ることがほとんどであり、難しかったが勉強になった。 ・とても集中できる授業であった。自分でも色々しらべてみようとおもう。 ・あらゆる分野や科学のことについて触れられていて、AIやデータの知識を幅広く学ぶことができた点 ・写真やグラフがたくさんついてて分かりやすかった。 ・初めて知る事が多くて難しい内容もあったけどわかりやすかった ・初めて受講し難しい言葉が多く大変だったが理解はできた ・AI技術が様々な現場で活用されていることを知れたことは良かった。土木業界でも活用されていて、安全管理や品質管理においては大いに活躍していることを理解した。 ・ナイ ・OIT-MDASHの深層学習のところが難しかった。 ・土木関係でも、AIの活用が多くなってきていて建設機械での事故などの防止に役立っていることがわかりました。 ・スライドがとても見やすかった。AIの説明が少しあったがもっと説明してほしい ・スライドのプリントにQRコードがあり、資料にアクセスしやすくより理解が深まった。 ・OIT-MDASHが必要だということが学べてよかった。 ・知らないことが多くあり勉強になった ・スクリーンとプリントがあったので内容が理解しやすかった。これから必要になる情報がたくさんあったので学べてよかった。 ・社会で一般的な技術について教えてもらった上で、専門分野での技術利用についても教えてもらえたところがよかった。 ・他の人と乗り合わせるタクシーは無駄なガソリンの使用、無駄な労力を減らすことができ非常に良いと思った。 ・楽しかったです。 ・最近話題のチャットGPTについても知れてよかった ・いろいろな、専門的なことが知れてよかった ・正直、初めて聞く用語が多く理解できない部分がたくさんあった。しかし、知っておくべきことなのだと思う。1,2回の講義では深く理解ができないので、定期的に講演会や講義的なものを開いてほしい。気になったものは自分で調べようことにする。 ・AIの利便性や、その活用方法について知れたことがよかった ・資料があったので自分のペースで理解することができ良かった。現代社会においてネットワークを上手く活用できることが大切だと改めてわかった。 ・パワポが文字がギョウギョウ詰めで読んでしんどいページを増やして欲しい ・図や写真等で解説があったのが良かった。重要な所に赤字で書かれていてわかりやすいのが良かった。分野が幅広いので、身近な例をもっと用いた方が理解しやすい。 ・スライドが分かりやすかった ・より良い知識を知ることができました ・MDASHを聞いたことがなかったが、今回の授業の説明でどういったものなのか知ることができた。また、なぜMDASHを学ぶ必要があるのかを理解することができ良い知識を得ることができた。 ・知らないことだらけだと思っていたが、所々知っている単語があって、あまり暇しなかった ・社会でAIがどのように使われているかが分かった。 ・AIなどについての理解が深まって良い授業だと思った ・新しい知識を得れた ・PowerPoint(を印刷したもの)を使った説明や、授業自体には関係ないがリンクを貼り、授業後の復習や更に分かりやすい説明など様々な工夫されており、総合的に分かりやすと感じた ・初めて聞く言葉が多く難しく感じました。 ・新しい知識を得ることができました。パスワードがわからなくて遅れました。 ・都市デザインの例をあげていたのが良かった。 ・近年において、AI技術は必要不可欠なものだと思うので、MDASHを通じ必要な基礎知識を学ぶことが出来て良かったです。これから学ぶことにも結び付けて学んでいきたいです。 ・データとaiを活用することで、これからの生活が豊かになるが、aiに頼りすぎることも良くない。 ・そもそもMDASHということを知ってこの授業で知った。内容が詳しく興味を持てた ・これからどんどんAIが進歩していけば、どうなるのだろうかと思いました。

OIT MDASH (リテラシー) 自己点検 独自アンケート結果 2024年度【工学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関係する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)
			<ul style="list-style-type: none"> ・AIの発達によってタクシーみたいなバスができるという話が印象に残った。このことから、人間だけではできることが限られているということに気づいたので、AIを極的に活用していくべきだと感じた。 ・とくになし
	導入・基礎	基礎情報処理Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・少しすすむのが早い時があつてついていくのが大変だった部分があつた ・特になし ・もう少しゆっくり説明してほしい ・パワーポイントの資料が分かりやすく、理解しやすいと感じた。 ・授業スピードが若干速い気がする。 ・この授業は、色々なパソコンの技術を学ぶことができるのですごく気に入っているのでこの後も楽しく学びながら受講します ・特になし ・特になし ・言葉だらけで難しかった。 ・excelやwordの事細かな分野などを学習でき、将来情報社会に後れを足らないためには必要な講義であると感じました。 ・初めての内容だったがOIT-MDASHについて詳しく知ることができ良かった。 ・難しくついて行くのが大変だった ・エクセルの機能を自分で学ぶことは難しいので、授業があつてよかったと感じた。
	心得	技術者倫理A組	<ul style="list-style-type: none"> ・記述欄のところを書き込む際に3択などにして欲しい ・特になしです。 ・特になし
	心得	技術者倫理B組	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
建築学科	導入	キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・動画をみることでより親近感が沸いた ・今後増えていくであろうAIについて詳しく学べてとてもいい講義でした ・建築に大きく関わる分野とそこまで関わらないのではという部分があつた。だか、現代を生きていく上で必要不可欠な確かだと感じた。 ・自分で調べる時間内課題があつたのでより頭に入れることができた。 ・AIに対する偏見が無くなった ・普段あまり考えないAIについて深く考えることが出来たので良かったです。 ・情報の知識があまりなかった私にとってとても興味深く、これからの私たちの生活に深く関わってくるのだなと感じることができてよかった。 ・自分で一度情報を集めて、それをまとめることにより自分で理解して、そこから、授業を聞くことによってより理解が深まって良かったです。 ・授業内課題は授業中に終わるようにして欲しい ・本講義の良かった点は昔から今にかけての情報技術の発展で社会がどのように変化しているかやその良さだけでなく問題点などにも着目し理解を深めることような授業だった点。 ・動画などを交えて、説明して下さつたので理解しやすいのと同時に、データサイエンスについて興味が湧きました。 ・紹介として動画が入っていたのがわかりやすく、良かったと思います。 ・動画を見たことで理解がよく深まったし、興味を持ったのでこれからもっと調べたいと思った ・自分の考えをまとめる機会があつたので良かった ・授業内で課題をする際、もう少し時間が欲しかったです。 ・リテラシー力が高まった気がして非常に身についた。 ・スライドが見やすかつたです ・Aiを活用していく上での問題点やメリットなどを講義で調べ、考え述べる演習を通して理解を深めることが出来た。 ・演習によってAIに関する理解がより深まったと感じました。 ・あまり知らなかつた内容だったが細かいところまで説明されていてわかりやすかつた。 ・自主的にAIに詳しく触れる機会がなかつたのでよかった。 ・自分たちが知らない分野で、興味関心を持ちやすいように話をしてくれていたため聞きやすかつた。 ・色々なことに関心を持つことが出来て良かったと思った。 ・映像や画像などを使った授業で理解度、関心がともに高まったので良かったと思う。 ・授業内課題をやる時間をもう少し作って欲しい。 ・スライドが見やすく、補足情報も口頭でたくさん教えて下さつたので有益な情報がたくさん手に入りました。 ・文字が少し小さかつた。 ・理解が難しい内容だつた。 ・話が長かつたです ・society5.0についてなど、動画を用いた授業はわかりやすかつたです。 ・実際にAIの速度をその場で実践してくれたのが良かった。

OIT MDASH (リテラシー) 自己点検 独自アンケート結果 2024年度【工学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関係する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)
			<ul style="list-style-type: none"> ・映像などを入れて説明していたのでとてもわかりやすかった ・具体的な動画なども見せてくれてわかりやすかった。 ・情報化社会になりつつ今に必要な最低限の知識を身につける事ができ、新たな知識を身につける必要があると感じた。 ・動画を多く視聴する点が良かったと思いました。 ・実際の映像などをみせてくれたので、非常にわかりやすかった ・AIやSociety5.0について、初めて知するような知識や現状について学ぶことが出来ました。建築の分野にも関連付けてさらに理解を深めていきたいと思いました。 ・動画などでより理解が深まった。とてもわかりやすく集中して取り組めた。 ・穴埋めで大切な言葉を書くという方式がよかったです。何も書かず聞いているより話が入ってきました。 ・自身で調べ、深めていく方向性は良いと思った。 ・自分一人だと思いつかないような内容を周囲の人話すことで、違う考えや考えを裏付けることができる機会が用意されているのが良かった。この授業を受け、自分に足りないものは何かがわかり、改善する為の方法を模索することができる良い機会だったと感じた。 ・AI良いところ、良くないところなど詳しく知れたので良かった ・1つずつ丁寧に解説してくださってすごく分かりやすかったです。
	導入・基礎	基礎情報処理II	<ul style="list-style-type: none"> ・英語や変なボケやめて欲しいです。必死でやってる時に分からなくなっちゃいます ・映像授業をやめてほしい ・動画学習なので、自分の好きな時に復習ができるのがいい点です。 ・ないです ・とくにありません。 ・役に立つ事を知れてよかった ・自分だけではなかなか触れない情報や技術を学べてよかった。 ・なし ・とてもよかったです ・授業後に操作方法を忘れることがたまにあったので、授業説明のPDFがあって助かりました。 ・もう少しゆっくりして欲しい ・授業スピードが早くついていくのが厳しい ・授業スピードが速かったので、理解する時間と作業する時間が欲しいと思った ・時々進捗が早い時がありましたが、資料はとても見やすかったと思います。 ・授業スピードが速く、置いていかれることがあるので改善してほしい ・速いので一つできない場所ができると、それ以降全くついていけなくなる。確認しながらもう少しゆっくり授業して頂きたい。 ・進むスピードが早いので、もう少しゆっくり進行して欲しい。 ・特になし ・進み続ける。 ・普段パソコンを使う機会がないですが、急につか合わなくてはいけない場面が大学にはあるので、その時のために役に立つ抗議だと感じた。 ・一つ一つ丁寧に教えてくださったので理解しやすかったです。
	心得	キャリア形成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし ・動画を使用した授業で非常に分かりやすく、難しいと感じていたAI等について興味を深めることが出来た。 ・説明が分かりやすくよく理解できた ・具体的な技術の応用をみせてくださったので、今後の発展がすごく楽しみになった ・特になし ・これからの自分の分野に必要なことを知るいい機会になった。 ・Amazonなりきりメールを見た時、ここまで本物のメールと似ていることがあるのだと改めて注意しようという気持ちになれた。 ・本当にあった事件などを例として使って説明があったためとてもわかりやすかった ・動画などを用いて凄く内容が入ってきやすかったです! ・情報セキュリティやAIの使い方と恐ろしさを今まで何となく知っていたものを具体的に知れたことが良かった。 ・インターネットはかなり身近な存在で、人によっては血肉になっているかもしれないこのご時勢ですが、子どもの頃よりインターネットの怖さが高まりました。なぜなら、お金を自分で管理しなければならないからです。例えば、クレジットカードなどについてです。 ・一つ一つについて分かりやすく深く入り込んだ説明をしていてよかった ・インプットの後に学んだことを書いたり思考するなどで、アウトプットの機会を頂けたので身についたと思う。 ・河野先生の授業わかりやすかったです。
機械工学科	導入	キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例の数を少し増やすといいと思う ・事例(体験談)を用いた説明がわかりやすくてよかったです。 ・これからの社会の変化について考える良い機会になった。自分の夢と関心を持って学んでいきたい。 ・画像などがついており単語は知らずとも理解する事ができた ・aiを使うことは面白いと思った ・普段ならあんまり聞けないことなどが聞けることもあってとてもよかったですと思う ・より専門的に学べる所が良いと思った。 ・AIなどについてより知ることができた ・理解を深めるために、途中で一旦グループワークを挟んで欲しかった

OIT MDASH (リテラシー) 自己点検 独自アンケート結果 2024年度【工学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関係する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)
			<ul style="list-style-type: none"> ・ これからの時代について議論出来たことが良かった ・ 特になし ・ AIが進化することによってなくなる仕事もあるが、それよりも生まれる仕事のほうが多くなるため失業率の増大ことなどの心配は減るといったところがよかった。 ・ 特になし ・ 分かりやすかった ・ 特になし ・ 先生の実体験と絡めた授業内容で、わかりやすかったです。 ・ とてもよかった ・ aiの発展に対する対応について考える必要があると思えた ・ 画像があったりしたので分かりやすかったです。 ・ 今まで学んでいない分野に興味を持てた ・ OIT-MDASHの授業に関する概要がわかりました。 ・ 数理系への興味がより強くなる点がよかった ・ なし ・ 情報リテラシーについて改めてよく考えるいい機会になった。 ・ 改善点は特にありません。実体験、経験をもとに様々な出来事と絡めながら話を進めてくれるので、どれだけ重要なのがしっかりと明確になりました。 ・ 為になった ・ AIに関する理解興味が高まった ・ グループ活動の時間を増やして欲しい ・ これからどのようなことを行っていくのかということを知ることが出来た。 ・ よかった点：職業分析はいい参考になった。改善点：1,2回で理解できるのに、似たようなことを何度も言うから、途中から話が頭に入ってこなくなった。 ・ 例え話を交えて説明してくれたからとても分かりやすかった ・ グループ活動の時間を伸ばしてほしい ・ 要点がまとめられてとてもわかり易かった。 ・ とくにありません ・ これから先の技術に興味を持つようになった ・ なし ・ ないです。 ・ 分かりやすかった ・ とても為になることばかり知れて今後の役に立ちそうだった ・ なし
	導入・基礎	基礎情報処理Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進むのが早い ・ 必須ソフトの操作法の習得につながってよかったです。「データに対する基本的な分析方法」の習得も、適切に行えるカリキュラムであり、良いと思いました。 ・ 授業スピードが早かった ・ 進むのが早いところがあったのでゆっくりしてほしい。 ・ いい感じ ・ 演習が多いのが身につきやすく楽しい ・ 特になし ・ よかった点:話ばかりではなく、手を動かすことがあったから集中が続いた。 ・ 表を使った解説があったので、理解がしやすかった。 ・ 授業内容に関しないが、授業開始時刻から授業開始までに毎回10分からかかり、授業終わりが定刻を過ぎるなど、時間にルーズであったのに対してずっと気になっている。 ・ 実践する時が多かったから何が分からないのが明確になりやすくて良かった ・ ない ・ 特になし ・ Excelの扱い方が上手くなったのは良かったです。 ・ スライドを用いることで、より分かりやすい授業となっていた。 ・ なし ・ 演習を授業内でやる部分が良かった点 ・ なし ・ 特になし ・ なし

OIT MDASH (リテラシー) 自己点検 独自アンケート結果 2024年度【工学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関係する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)
	心得	工学倫理イ組	<ul style="list-style-type: none"> ・2回に分けて要点を説明してもらったので理解出来た ・説明がわかりやすかったです。 ・身近な例についての説明があり、分かりやすかった。
	心得	工学倫理ロ組	なし
電気電子システム 工学科	導入	キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料にリンク先が多く、調べやすい使用になっているのが良いと思った。 ・スライドの文字が小さかった ・実例のおかげである程度理解しやすかった。 ・データサイエンスやAIに関する知識をつけることは、これからの世界で生きていくためにも必要なことだと思うので、良かった ・空調がよくて眠くなるので、腕を動かすことをして欲しかったです ・スライドで説明されていて、とても見やすく、理解が深まったと思います。ありがとうございました。 ・事例をもう少し具体的に結んでほしかった。例えば、物理学分野における天体観測画像のAI分析を例としてみると、分析によって新しい天体が見つかったのか、またそれはどういった天体なのか等をさらに説明していただければ、その分野に興味を持っている学生をより惹きつけることができるのではないと思う。 ・話を聞くだけだったので眠くなってしまった。 ・資料を使って説明をしていた所が特に良かったです。 ・クイズみたいなのが欲しかった ・何を伝えたいのかがいまいちわからなかったなのでその点をもう少しわかりやすく説明して欲しい ・元から知っていた分野で忘れていた点もあったため、学習しなおせてよかったです。 ・伝えたい内容が難しく分りづらい ・特になし ・特になし ・具体的な例が多かったが、普段目に見えない側の例が多かった印象がある。もっと身近な例が多いとわかりやすい ・なし ・スライドの内容がわかりやすかった。 ・ディープフェイク動画に関する紹介など、短いもので良いので実際に流されると、もっとわかりやすいのではないかと ・もう少し例などを挙げて欲しかった ・データサイエンスに関するものを詳しく教えていただいていたのでとても良かったです。 ・特になし ・スライドに書いてある内容が、自分の専攻してる分野とは少し外れていたのでも新鮮で興味深かったです。
	導入・基礎	基礎情報処理Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し段階的に理解できる問題があれば、今より理解が深まると思った。 ・特になし ・このアンケートで出てきたOIT-MDASHとは何のことを言っているのかわからなかった。 ・参考資料で先生の話から書いたノートを参考にしたり、先生の動画を参考にした時の参考資料はこうやって書かというのを教えて欲しかったです。 ・きちんとした教科書などがあればもう少し理解が深まったと思います。 ・特になし。 ・なし ・なし ・とくになし
	心得	技術者倫理	なし
電子情報システム 工学科	導入	キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし ・逆にもっと倍速してほしい 1.5倍速とか ・動画で分かりやすく理解できたのでとても良かったです ・特になし ・特になし ・正確な理解が難しいと思った ・難しい内容だったので理解できないことが多かったです ・話を聞くだけでなく何か講義内で軽めに体験したいと思った ・手持ち無沙汰だった

OIT MDASH (リテラシー) 自己点検 独自アンケート結果 2024年度【工学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関係する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)
応用化学科			<ul style="list-style-type: none"> ・特になし ・スライドが見やすかった ・スライドを共有してほしいです ・特になし ・なんとなくはわかったが具体的に何を学べばいいかわからなかった ・話を聞くだけでは飽きてしまうので、なにか手を動かせるものがあるといいと思う。 ・特になし ・特にありません ・pdfでスライドを見れるようにしてほしい ・説明が詳しくとても分かりやすかった。 ・特になし ・特になし ・なし ・とくになし ・とくにありません ・授業の中でOIT-MDASHに関係することを、話すだけではなく動画を用いて授業を行っていて『実際にこういうことをしているんだ』ということがある程度知ることができて良かったと思います。 ・例が多くて分かりやすかった。 ・部屋が熱い ・特にありません ・特になし ・進むのが個人的に早いと感じた。 ・動画をとうして視覚的にわかったこと ・oitは技術(特に情報に関する)を使って世界をよりよくしようとしていることはわかりました。 ・知識がゼロでもわかるようにしてほしいです ・特になし ・2回目のデータファイルほしいです ・自分たちが今後何をしていくのかを学べたことがよかった ・なし ・なし ・内容は理解できたが自分で使いこなせるかが不安であります ・前で動画を流したおかげでより関心が深まった ・専門的な言葉が多くて分かりにくかった。自分で活用できるか心配。 ・もっと活用例を詳しく知りたかった。 ・自分で使いこなせるか不安 ・スライドだけでなく動画などの説明もあり、わかりやすかったです。 ・資料が見やすくてとても分かりやすかった
	導入・基礎	基礎情報処理Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・授業資料が分かりやすかった。 ・掴むまでは大変だったが小テストのおかげで復習する機会が増え掴みやすかった ・特になし ・一緒に演習して理解を深めるという点は良かった。 ・動画で見る授業が良かった、何回も繰り返して見れて理解を深めることができた ・授業の進むスピードがはやかった。追いつくのに大変だった。 ・自分自身がデータサイエンスにとっても興味があるのだから、この授業でよくわかった。 ・なし ・なし ・それぞれのグラフの使い方についての説明が理解しやすかった。 ・AIに興味をわく授業なのでこれからも一回生の授業に組み込むべきだと感じます。 ・AIについて知る良い機会だった ・わからない ・演習の時、授業スピードを少しゆっくりしてほしいと感じました。
	心得	情報社会と倫理	なし
応用化学科	導入	キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例などを多く提示してくれたのでわかりやすかった ・AIのメリットとデメリットについて知れてよかった。 ・箇条書きが横に並んでいて一つの内容なのか別の内容なのか少し分かりにくかったです ・なし ・一回目の講義に対し、二回目の講義に関して出てきました、生成AIという、各人によってかわりが変わっている(使う人と使わない人の差を指している。)話題をお話いただく機会をいただけたこと、うれしく思います。现阶段では、注目され続けている「Chat

OIT MDASH (リテラシー) 自己点検 独自アンケート結果 2024年度【工学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関係する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)
			<p>GPT」のメリット、デメリットを理解できる人材は大多数であるとは言えない。という意見をもとに、お話しさせていただきます。ひとまず、一点のみに絞らせていただきますと、我々の身の回りで起こっている身近な事件例であったとしても、資料にある事件例(新聞を指しています)では、現実味がない、という点。改善点としては、講義中に行われていた、「Chat GPTにおける、情報の不正確さを示すために行っておられた、「大阪工業大学について教えてください」という資料は、後で見てもわかるように、生成AIの「不十分さ」を意識して資料にまとめる方がよい。」と個人的には思っております。一年後には、ChatGPT及び生成AIはもっと幅広く活用されていると思っております。その際に、これらの情報は、不必要である可能性は大きいと思いますが、生徒の一意見としてお聞きいただくと幸いです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフとかが多くて分かりやすかった ・特になし ・たくさんさんのデータとともに解説していただけたので、大変理解が深まりました。 ・自分たちがこれから生きていく時代でとても大事なことを学んだ ・自分がまだ知らない数理データについてよく知れました。 ・理解が深まった ・特になし ・Chat GPTについての説明が受けられたのが良かった ・説明が聞き取りやすかった ・特にありません。 ・実際にあった事例などを用いてAIの正しい使い方を再確認できた ・画像を用いて説明されていてとても分かりやすかった ・AIに関する知識を深めることが出来た ・特にありません。 ・AIに関することがスライドで分かりやすくまとめられていたので分かりやすかった。 ・よかったです ・解説する文章もかいてほしい ・ユーモアのある話を挟んでくれる。話を聞くだけでなく先生からの投げかけを考えるグループワークの時間があれば良いな、と思った。 ・特になし ・資料は見やすかった ・AIに対する意識が高まった。 ・AIについてよくわかったのでよかったです。 ・資料にグラフや図を多く使われていたのでイメージがしやすく、理解がしやすかった。 ・AIについてあまり詳しくなかったが、AIの利便性や危険性について学べてよかった ・改善してほしいと思う点は現状ではない。 ・AI活用の危険性と利便性についてよく理解できた。 ・もう少し身近な例でせつめいがほしかった。 ・「=+a」の話の化学分野におけるAIがもたらす影響についてよくわかりました。 ・身近なものを例として挙げて説明してくれるので、理解しやすかった ・身近な例での説明が多く、とても分かりやすかったです。 ・講義の時に写真や図が多くてわかりやすかった。ところどころリンクが貼ってあったので講義中に補足資料として使用できたのでしっかり見れなかったところは今後見ようと思った。 ・特になし ・AIについて知識がより多くなったのでよかったと思います。 ・特になし ・話が分かりやすく聞いていて面白かった
	導入・基礎	基礎情報処理Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・なし ・全体的にもう少しだけゆっくり説明して欲しいです ・講義中に実習、また、復習課題があったため理解が深まりやすかった ・自分が遅いだけかもしれないが速いと思った。
	心得	工学倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・無し。 ・実践的な内容で実際の応用力が身についた点が良かったと思いました。 ・グループ討議で自分の考えが言えるのでより一層理解が深まった。 ・資料が見やすく、重要な語句は赤字などで書かれていて、大変復習しやすく、良かった。 ・特になし
環境工学科	導入	キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークがあって協力できたことが良かった ・ChatGPTを初めて使ったが、よく話に聞いていた通り、間違った情報を提供されることがあったので、使用する時は注意する必要があると気づいた。 ・実践したことでより記憶に残った。 ・実際にチャットGPTを使えたのが楽しかった点 ・普段使う物について危険性や重要性に再度気づくことができた
	導入	基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・およそ一人一台モニターを見ながら授業ができたので、授業の内容がより理解できた ・動画だけじゃわかりにくいかもしれませんが。

OIT MDASH (リテラシー) 自己点検 独自アンケート結果 2024年度【工学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関係する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)
	入・基礎	情報処理Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・早めに解答を出してほしい ・無し ・相関係数の導出、疑似相関を知ることができた。
	心得	環境倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・いまや、AIは一般人の日常生活においてもかなり身近なものになっている。そのため、授業内で提示する事例をもっと身近なものを出してもいいのではないかと感じた。自身にも起こり得ることであれば、より授業の内容やその関心度合いもかなり上がるのではないかと考える。 ・特にありません。 ・特になし ・特になし ・今まで、データサイエンスは単語を聞いたことがあるぐらいだったが、今回の授業により意味を知ることができたため、良いと思った。 ・討論の時間が長いので、発表の時間をもう少し取って欲しいと思った。 ・改善して欲しい点は特になく、内容が深くとても理解しやすかった。
生命工学科	導入	キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・生物学において幾多ものデータを保管しなければならぬ情報システムの重要性を感じた。 ・もうすこしアクティビティがあると嬉しいです。 ・内容が覚えられなかったのもう少しまとめてほしいと思いました。 ・特になし。 ・非常に興味がそそられる内容でよかった ・特にありません ・少し難しく理解できないことが多かった ・もう少し早い口調で話してほしい プレゼンにあまり字を入れないで欲しい ・大きな声でしゃべってほしかったです。 ・なし ・なし ・なし ・なし ・特になし ・なし ・なし ・軽い問題などがあればより理解しやすくなるように感じます ・パワーポイントの内容は字が多く少し見にくいところもあったけど、写真や絵もあり全体的には見やすかった。けどただ聞いているだけで少し疲れるときもあった。特にゲノムなどの高校で習って比較的知っている内容のところは、わかっているの少し眠たくなった。けど自分が全然知らないところもあり、非常に興味をそそられた。
	導入・基礎	基礎情報処理Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・たとえが分かりにくい ・特に無し ・わかりにくいとえ話をやめてほしい ・OIT-MDASHの授業を受けてからこのアンケートに答えるまで長い期間が空いているので、授業を受けてからすぐにアンケートを回答できる方がいいと思った。 ・わからないことは、聞けば何でも答えてくれたので疑問を残さずに済んだ。 授業内で出す課題が具体的に何をすればいいのかわかりづらかったので、何をしたらいいのかを示してほしい。 ・Excelの使い方を実習形式で学べたのが良かった。 ・特になし。 ・なし ・パソコンを使いわかりやすく教えてもらったので授業にしっかりついていけてエクセルの使い方をしっかり学べた。 ・パワーポイントでやり方を解説しているのがとても分かりやすく、良かったです。 ・作業の際スピードが速くついていくのが大変だった。 ・難しい内容だったけど聞いて良かったです ・スムーズな説明で効率的であった。 ・なし ・授業のスピードがはやすぎて全くついていけなかった。 ・特になし
	心得	工学倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の作業時間をもう少し増やして欲しいです。いつも急ぎになってしまいあまり考えられません。 ・提出課題が難しかった ・書き込むところが多く、内容を理解できない ・oitリテラシーについて理解が深まった。 ・なし ・oitリテラシーについてよく理解できた。 ・特になし ・なし

OIT MDASH（リテラシー）2024年度 自己点検に対する講評【工学部】

設問1に対する講評

前期	学科によって多少の度合いは違うがどの学科も学生の理解度が高かったことが分かる。担当者が変わった学科においては前年度に比べ理解度の減少が見られたが、やはりある程度の教員におけるノウハウがあるようで次年度以降の改善に期待している。学科の中には実習を含めたり理解度向上の工夫がみられるのでこちらも期待したい。なお、情報から少し遠い学科では、新しい情報のアップデートに関して専門学科からのフォローが欲しい。できれば情報提供だけでなく、資料の更新もお願いしたいとの要望があった。
後期	全体的に理解度が高い状況であることが伺える。学科によって上昇した学科、下落した学科等があるが、理解度の割合が高止まりしている状況もあり、多少の高下は問題ないと認識している。なお、後期になり「内容についていけない学生をみかける」とコメントしている学科が数学科存在している。この辺りを注意しながらこのまま各学科の工夫を続けて欲しいと希望する。
年度総括	全体的に理解度が高く、特に問題になっている点はないと考えている。各学科が理解度をあげるための工夫を行っているため、その成果を期待したい。

設問2に対する講評

前期	どの学科においても興味や関心が高まったとの回答が多い結果となった。ChatGPTのようなホットな話題を授業で紹介するなど各学科の努力を見て取れる。「紹介された事象が身近に感じるかどうかはこれまで受けた教育のバックグラウンドに影響するため、より幅広い分野の事例紹介が」必要とのコメントもあり、多くの事例を紹介できるよう資料の更新を期待したい。
後期	関心が高まったか、高まらなかったについては、高まったと答える多くの学生がいる一方、ある一定の割合で高まらなかったという学生が居ることが報告されている。各学科の工夫がある程度功を奏している結果だと思われるが、関心興味については属人性なこともあり、地道な啓発が必要なのではないかと思う。
年度総括	「導入」や「心得」では、比較的興味関心を高めた学生が多かったが、少し専門的な内容となる「基礎」となると興味関心を高めるのが難しいことが見て取れる。もともとDXなどに興味のない学生に興味を持たせることは難しいと思うので今後の進捗に期待したい。

設問3に対する講評

前期	工学部に進学した学生にとって、情報に関する重要性については元から十分認識しており、各学科が授業で工夫されているため、特に問題はないと感じる。担当者が変わったため「高まった」割合が減少した学科もあったが、担当が初年度ということで来年度以降に期待したい。
後期	基本的に重要性については高まったとする学生が多くいるが、ある一定の「どちらとも言えない」を選ぶ学生が無視できない割合で居ることに注目している学科も存在する。特に「基礎」については、学科によって大きく割れる結果となった。もともと重要性について認識しているので、「どちらとも言えない」という回答になった可能性もあり、また学科の属性にも由るのだと思われる。今後の工夫に期待したい。
年度総括	多くの学生が重要性の認識が高まったと答えたのは共通である。前述したが、「高まった」という回答は相対的なものであり、「もともと高かったので更に高まったか」というそうともいえないと答えた可能性を排除できず、回答を再検討しても良いのではとも思われる。

設問4に対する講評

前期	各学科の教員が様々な工夫を凝らすことにより学生の分かりやすさを高める努力をしていただいていることがよくわかる。今後もブラッシュアップをしていくと述べている学科もあり、次回へ期待したい。
後期	基本的にどの学科でも「分かりやすい」とポジティブな回答をしており、各学科教員の授業に対する工夫が実を結んでいると認識している。さらなる工夫を表明している学科もあり今後の成果に期待したい。
年度総括	どの学科においても、学生の理解度工場のため、分かりやすい授業を心がけていることがアンケート結果からうかがい知れる。これといった正解はないかと思われるので各学科の工夫や経過を見守りたい。

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【工学部学科別】

設問1に対する所見

C科	前期	導入（キャリアデザイン）および心得（技術者倫理）のいずれも9割近い学生が、「よく理解できた」あるいは「ある程度理解できた」と回答しており、多くの学生が授業内容を理解している。導入については、今年度から、2年次の土木情報学を担当する教員が授業を行い、OIT-MDASHの内容と土木分野との関連も含めた授業内容に改善した。その結果、学生の理解度が高まり、「理解できた」と回答した学生が昨年度よりも高い割合となったと考えられる。 自由記述の回答も概ね好評であり、次年度に向けて実施方法に大きな改善は必要ないと思うが、適宜新しい知見を加えた授業を展開したい。
	後期	導入・基礎（基礎情報処理Ⅱ）では、昨年度とほぼ同様の傾向がみられたが、「よく理解できた」「ある程度理解できた」を合わせると、78%の回答を得た。これは、他学科と比較して同水準の傾向であることが示されている。同じ導入・基礎の授業を行っているので、この水準を維持できるよう次年度に繋げたい。一方で、「どちらともいえない」に18%の回答があり、この項目に該当する受講生に理解を深まる工夫が必要だと考える。今後の対策として、再考しながら全体の理解度を向上させていきたい。
	年度総括	導入および心得は9割近い学生、導入・基礎は約8割の学生がOIT-MDASHに関する授業について理解したと回答した。導入および心得は、昨年度から「どちらとも言えない」と回答する学生の割合が低下しており、改善の効果があらわれている。一方で、導入・基礎は、「どちらともいえない」と回答する学生がやや多かった。新しい知見を加えたり、学生の理解度を確認しながら授業を進めるなどの改善を図りたい。
A科	前期	昨年度に引き続き、授業内容を基本的な事項にとどめ、さらには、授業中に授業内容と関連する問題を出し、PCで調べさせ、解答させるという方法を採用したことと、授業に主体的に参加せざるを得ず、ある程度理解が進んだと考える。2024年度は、授業内演習の数も絞ったことで、昨年度より学生の理解は深まったと考える（「よく理解できた」と「ある程度理解できた」の合計が92%で昨年度より11ポイントアップ）。
	後期	〔導入・基礎〕 昨年度とほぼ同様の傾向がみられたが、「よく理解できた」「ある程度理解できた」を合わせると65%の回答を得た。これは、他学科と比較しても良くない傾向であることが示されている。同じ導入・基礎の授業を行っているが、今後の課題として次年度に繋げたい。一方で、「どちらともいえない」に27%の回答があり、この項目も他学科と比較しても良くない評価が確認できた。今後の対策として、ボトムアップのサポートを再考して全体の理解度を向上させていく改善が求められていることが分かった。 〔心得〕 学生アンケートにおける理解度についての集計結果から、理解できない旨の回答はなく、授業で扱う内容の難易度については適度に調整できていたものとする。5限の選択科目ということもあり受講人数そのものは少ないが、建築だけにとどまらず広範囲な物事に対して興味のある学生が履修しているであろうことも、学生が授業に集中できた一因といえるであろう。
	年度総括	〔導入〕及び〔心得〕では、9割以上の受講者が肯定的な回答をしており、授業内容・方法の有効性が一定程度証明されていると考える。一方〔導入・基礎〕では、肯定的な回答は65%にとどまっている。「設問5」の自由記述からは、授業のスピードについていくのが困難な学生層の存在が把握できることから、授業内容並びに授業方法のさらなる工夫が必要であると考える。 昨年度のアンケート結果と比較して、〔導入〕と〔心得〕、特に〔心得〕において授業内容の理解度が高まっている点は、授業内容・方法の改善によるものと思われる。
M科	前期	導入では76%、心得では92%の回答者が「よく理解できた」あるいは「ある程度理解できた」と回答していることから、大半の学生がOIT-MDASHの授業内容を理解できたことと捉えている。また、昨年度の結果と比較すると、導入では3%、心得では2%の微減と、ほとんど変化していない。これら導入および心得で高い理解が得られている要因として、導入ではOIT-MDASHの全体の授業構成を一昨年度よりしっかり説明し、心得の授業への流れを作れたことが考えられ、心得では具体例をより増やしたことが考えられる。また、今後の改善策としては、導入では具体例を多く上げることが挙げられ、心得では用語説明を増やすことが挙げられる。
	後期	導入・基礎（基礎情報処理Ⅱ）は84%の学生が「よく理解できた」または「ある程度理解できた」と回答し、昨年の約7割より改善している。授業内容を見直し、説明方法や演習時間を改善したことが要因と思われる。しかしフォルダーの作成、ファイルのコピーなど、基本的なパソコンスキルの不足する学生が一部にあり、授業内容よりも手順に追われている様子だった。基本的な操作を一緒に行い、授業内で確認する方法を確立するなど、工夫をしていきたい。心得では、81%の回答者が「よく理解できた」あるいは「ある程度理解できた」と回答していることから、大半の学生がOIT-MDASHの授業内容を理解できたことと捉えている。また、前期と同様、昨年度の結果と比較すると、後期は若干数値が減少したものの、高い理解度はキープできているものと思われる。
	年度総括	導入では76%、導入・基礎では84%、心得では88%の回答者が「よく理解できた」あるいは「ある程度理解できた」と回答していることから、大半の学生がOIT-MDASHの授業内容を理解できたことと捉えている。昨年度の結果と比較すると、導入では3%の微減、導入・基礎では8%の増加、心得では6%の減少という結果になっている。昨年度と同様に授業改善の効果が結果に反映されているものと考えられる。
E科	前期	前期に1年生が「キャリアデザイン」授業内で導入部分を受講した。「よくできた」、「ある程度理解できた」の回答の割合が昨年度よりも改善し、全学科平均よりも10%弱高い。授業担当教員が教授法などを改善した成果であると考えている。 理解度について、設問5のコメントに書かれているように、現状は提供された資料の説明を聴くだけで、理解度のチェックがなされていない。理解度チェックができる簡単な課題も学科にご提供いただけたらとありがたい。また、資料の内容も数年前に配布された状態からアップデートされていないことから、定期的（1年でなくとも、2年おきなど）に最新の動向を踏まえた内容にアップデートしたものを提供いただきたい。
	後期	導入・基礎（基礎情報処理Ⅱ）は70%以上の回答者が「よく理解できた」または「ある程度理解できた」と回答したが、昨年よりもその割合が減少している。受講者の大部分が授業内容を理解できたというポジティブな結果となっているが、一部の回答者がまだ完全に理解できていない可能性があるため、今後はより詳細な説明や補足、参加者へのフィードバックへの対応など、授業の理解度を向上させる取り組みが必要と思われる。 心得（技術者倫理）は昨年に引き続き今年も回答者の理解度が非常に高い。教員がグループワークや題材を工夫することで理解度が高まったものと思われる。

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【工学部学科別】

年度総括	<p>基礎情報処理Ⅱで理解度が低下したものの、3科目の平均では85%の回答者が「よく理解できた」または「ある程度理解できた」と回答したが、一部の受講者がコメントに書いたように、「OIT-MDASH」自体が何かを十分に理解できていない学生もおり、各科目でOIT MDASHの意味、位置付けをより丁寧に説明が必要と思われる。</p>
D科	<p>前期</p> <p>今年度から担当者が代わりました。前年度は「よく理解できた」35%、「ある程度理解できた」52%でした。今年度はそれぞれ17%、50%となり、残念ながら理解度が下がりました。前年度は「どちらともいえない」が11%のところ、今年度は27%に大幅に増加したようすから、授業に対して分からないことはないがどこか不満足という結果と受け止めています。</p> <p>前年度から引き継いだ資料をベースに古い部分をアップデートしながら新しい話題を取り入れる際に動画を多く利用した講義資料としましたが、反って盛沢山となってしまい、昨年度に行われたグループワークなどの自分で作業する時間が十分に取れなかったことが原因の一つと分析しています。講義内容を調整し、主体的に授業に取り組める工夫を入れることにより理解度向上の改善を行います。</p>
	<p>後期</p> <p>導入・基礎、心得、ともに8割以上の学生が「よく理解できた」「ある程度理解できた」と回答しており、授業内容はかなりの程度理解されたと認識した。授業の基本方針はこのままで来年度以降もこの質を保てるようにさらに授業内容を改善する。</p>
年度総括	<p>概ねOIT-MDASHに関する授業回の内容は理解できた学生が多い。授業のブラッシュアップを通じて次年度以降もより理解の深化に期待している。</p>
K科	<p>前期</p> <p>客観的にみて、応用化学科学生は、「数理・データサイエンス・AI」に関する関心は希薄である。しかしながら、当該質問（導入パート）に関して、応用化学科履修者の「よく理解できた」「ある程度理解できた」の上位2選択肢の回答率は87%と、工学部平均の82%を上回っている。よって、今年度の授業でも、応用化学科学生に対して「数理・データサイエンス・AI」に関わる意識を喚起することができ、一定の成果を挙げたと言える。</p>
	<p>後期</p> <p>「心得」を担当する「工学倫理」の評価は「1. よく理解できた」52%、「2. ある程度理解できた」46%と合計98%となっており、概ね「設問1」の授業内容についての理解は得られたのではないかと考える。ただ、情報分野の進化は早いので、次年度に向けて、授業に最新の内容を取り入れるように心がけたい。</p>
年度総括	<p>応用化学科では、「キャリアデザイン」「基礎情報処理Ⅱ」「工学倫理」3教科における上位2選択肢の割合は、2023年度→2024年度で、それぞれ89→87%・65→77%・98→98%であり、過去3年間通じて「キャリアデザイン」「工学倫理」を通じて内容理解は達成されている。向上の余地があった「基礎情報処理Ⅱ」も着実にブラッシュアップした。</p>

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【工学部学科別】

V科	前期	OIT MDASHに関する授業回の内容はどの程度理解できたかという問いに対して、よく理解できたが57%と全学科平均を上回った。また、ある程度理解できたが43%と全体にOIT MDASHの意図がよく伝わったと思われる。
	後期	OIT MDASHに関する授業回の内容はどの程度理解できたかという問いに対して、よく理解できたとある程度理解できたが合わせて72%と全体平均を下回った。受講者の感想から授業の速度についていけなかった学生が若干いたことが推定された。
	年度総括	導入と比較して導入・基礎では設問に対する回答率が80%と大幅に上がっており、学生にOIT-MDASH教育に対する理解を喚起できたと思われる。
U科	前期	導入「よく理解できた」と回答した学生の割合が昨年度の17%から今年度の34%に倍増したことは評価できる。昨年度の反省をふまえ、生命工学科の学生がよりなじめる内容を増やしたことよると考えられる。来年度に向け、内容を精査し、学生の理解度をさらに高めていきたい。 心得「よく理解できた」または「ある程度理解できた」と回答した学生の割合が昨年度の67%から72%に増加したことは評価できる。
	後期	導入・基礎「よく理解できた」「ある程度理解できた」と回答した学生の割合が69%であったことは評価できる。
	年度総括	全体として高い理解度が得られたことは評価できる。

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【工学部学科別】

設問2に対する所見

C科	前期	導入(キャリアデザイン)では7割以上の学生が、心得(技術者倫理)では9割近い学生が、「かなり高まった」あるいは「ある程度高まった」と回答しており、授業を通じて多くの学生の興味・関心が高まったことがうかがえる。学生にとって、初めて見聞きする語句や内容も多く、まずは内容を理解できた(設問1)ことが重要であり、今後、専門科目の知識も身に付けて、さらに興味や関心が高まることを期待する。
	後期	導入・基礎(基礎情報処理Ⅱ)では、「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせると、67%の結果が得られた。一方で、「どちらとも言えない」「あまり高まらなかった」「まったく高まらなかった」を合わせると、31%もあり、関心が高まらない受講生も一定数いることが分かる。受講生の関心や好奇心が高まる工夫を要することも検討課題としながら改善を試みたい。
	年度総括	導入、導入・基礎、心得ともに7程度の学生が数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心が高まったと回答した。ただし、導入および導入・基礎における「どちらとも言えない」と回答する学生は全学科平均を超えており、受講生の関心を高める工夫を検討して改善を図りたい。
A科	前期	授業内容を身近なものと結びつけ、加えて、建築に関する事項をできるだけ取り上げたことで「数理・データサイエンス・AI」に関する興味・関心が高まったと考える。また、2024年度は生成AIの説明においてデザインにおけるその可能性について具体的な事例を挙げて説明したことも受講者の興味・関心を高めることにつながったと思われる(「かなり高まった」と「ある程度高まった」の合計が88%で昨年度より13ポイントアップ)。
	後期	[導入・基礎] 「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせると、62%の結果が得られた。一方で、「どちらとも言えない」「あまり高まらなかった」「まったく高まらなかった」を合わせると、38%もあり、他学科と比較しても著しく良くない傾向が分かる。ただし、試験の結果は他の学科と比較して良くないわけではない。受講生の関心や好奇心が高まる工夫を要することも検討課題として改善していきたい。 [心得] 学生アンケートにおけるデータサイエンス等への興味・関心についての集計結果から、9割の学生の興味が高まっており、情報セキュリティや近年のトレンドを建築系の学生に周知する点において一定の役割を果たすことができたと考える。情報分野の非常に速い進化に対応するために最新の内容へのアップデートを引き続き続けるつもりである。
	年度総括	[導入]及び[心得]では肯定的な回答が、それぞれ88%、87%と高い数値を示した。建築学を専攻する学生ではあるが、近年の情報に関する事項や建築に関連する事項を授業に取り入れることで、データサイエンスやAIへの興味・関心を高めることは可能であると考えられる。一方、Excelで例題を解くといった授業は、建築を専攻する学生にとっては興味が湧きにくいと思われる。この点については、次年度以降も改善の余地があると考えられる。 昨年度のアンケート結果と比較して、[導入]では肯定的な回答が13ポイント上昇し、[心得]では肯定的な回答の割合はほぼ変わらないものの高い水準を維持していることから、学生の興味や近年の社会的な動きを授業に取り込むことは有効であると考えられ、引き続きも同様な工夫を継続すべきであると考える。
M科	前期	導入では80%、心得では90%の回答者が「かなり高まった」あるいは「ある程度高まった」と回答していることから、多くの学生が数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心が高まったと捉えている。また、昨年度の結果と比較すると、導入では3%、心得では12%の増加という結果になっている。これらの要因として、導入では心得の部分で説明する問題点なども加えて説明したが、大きな理解度の高まりにはつながっていない。心得での増加の要因はChatGPTに代表される生成AI等のホットな話題についても触れたことが考えられる。また、今後の改善策としては、導入では、直前に話題になった情報による問題提議が必要と考えられ、心得でもほぼ同様に最新の話題を取り入れることが挙げられる。
	後期	導入・基礎(基礎情報処理Ⅱ)は78%の学生が「かなり高まった」または「ある程度高まった」と回答し、昨年の約7割より改善している。これは、授業内容の改善が要因と思われる。しかしフォルダーの作成、ファイルのコピーなど、基本的なパソコンスキルの不足する学生が一部おり、授業内容よりも手順に追われている様子だった。数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心を引く内容や、基本的な操作を一緒にを行い、授業内で確認する方法を確立するなど、工夫をしていきたい。心得では、77%の回答者が「よく理解できた」あるいは「ある程度理解できた」と回答している。また、昨年度の結果と比較すると、14%の減少という結果となり数値としては減少しているが、昨年度と同様にオンラインから対面授業への移行が寄与したことで、高い数値をキープできていると思われる。
	年度総括	導入では80%、導入・基礎では78%、心得では79%の回答者が「かなり高まった」あるいは「ある程度高まった」と回答していることから、多くの学生が数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心が高まったと捉えている。昨年度の結果と比較すると、導入では3%の微増、導入・基礎では8%の増加、心得では5%の微減という結果になっており、昨年度と同様に授業改善の効果が結果に反映されており、高い水準を保っている。
E科	前期	数理・データサイエンス・AIへの興味・関心は、昨年度よりも高まっており、「かなり高まった」、「ある程度高まった」の回答の割合が昨年度よりも改善した。ただし、自由記述にあるように紹介された事例を身近に感じて理解しやすいかどうかは、学生のこれまで受けた教育のバックグラウンドに影響されるため、より幅広い分野の事例の紹介が関心を高めるために有効であると思われる。
	後期	導入・基礎(基礎情報処理Ⅱ)は昨年度は約80%の回答者が「かなり高まった」または「ある程度高まった」と回答したが、その割合は昨年度より低下し、一昨年度並みの水準であった。低下の原因は明らかではないが、数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心をさらに向上させるためのサポートや補足を提供することが、より良い学習経験を提供するために必要と思われる。 心得(技術者倫理)は55%以上の回答者が「かなり高まった」と回答しており、直近のトピックスを盛り込んだ教材・グループワークにより、学生が身近な問題として考察できたためと考えている。
	年度総括	科目により上下はあるものの、3科目の平均では全学科平均程度の80%弱の回答者が「よく理解できた」または「ある程度理解できた」と回答している。心得の技術者倫理では「かなり高まった」の回答が大幅に増えており、教員の講義方法や教材への工夫が結果的に結果と認められる。
D科	前期	前年度は「かなり高まった」31%、「ある程度高まった」54%で、今年度はそれぞれ22%、60%となり、昨年度とほぼ同様の高い割合で学生の興味・関心が高まったと回答しています。 昨年度を踏襲して冒頭でOIT MDASH(リテラシー)の特色と仕組み、導入・基礎・心得のカリキュラム、身につけることのできる5つの能力、についてしっかり説明しました。今年度は、さらに、AI・機械学習の事例についての動画を使った紹介を多く取り入れたため、昨年度と同様の高い割合での興味・関心の喚起ができたと考えています。
	後期	設問1と同様に、設問2においても導入・基礎、心得、ともに8割以上の学生が「かなり高まった」「ある程度高まった」と回答している。ここ数年特に生成系LLMの発展が目覚ましく、また学科の特質上学生の興味・関心も高いと思われ、授業との相乗効果ではないか。ただ、導入・基礎の基礎情報処理Ⅱにおいて、「あまり高まらなかった」が13%とやや気になる数でもあり、来年度はこの割合を減らすことを目標として授業展開を実践したい。
	年度総括	OIT-MDASHに関係する授業回の受講により数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心が高まっている。今後の授業方法によってさらに興味関心が高まることを期待している。
K科	前期	この設問に関しても、応用化学科「キャリアデザイン」履修学生(導入パート学修)の上位2選択肢回答率は84%と、工学部平均81%を上回っている。今年度もChat GPTなどの「生成AI」についても詳しく解説し、問題提起するなど、履修学生の意識を高めることに一定の成果を挙げたとと言える。
	後期	「心得」を担当する「工学倫理」の評価は「1. かなり高まった」48%、「2. ある程度高まった」48%と合計96%となっており、概ね「設問2」の興味・関心について高まったのではないかと考える。次年度に向けて、授業に身近なテーマを取り入れて、より興味・関心を持っていただけるようにしたい。
	年度総括	応用化学科では、「キャリアデザイン」「基礎情報処理Ⅱ」「工学倫理」3教科における上位2選択肢の割合は、2023年度→2024年度で、それぞれ81→84%・63→68%・93→96%であり、「キャリアデザイン」「工学倫理」を通じて興味・感意識の向上が果たせたと言える。来年度は、まだまだ向上の余地がある「基礎情報処理Ⅱ」授業展開のブラッシュアップを求めたい。「キャリアデザイン」(導入)では、生成AIについてさらに踏み込んだ授業展開を行いたい。

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【工学部学科別】

V科	前期	OIT MDASHに關係する授業回の受講により数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心が高まったかという問に対して、かなり高まったが30%、ある程度高まったが70%といずれも全学科平均を上回った。数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心を高めるような内容であったことが伺えた。
	後期	OIT MDASHに關係する授業回の受講により数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心が高まったかという問に対して、かなり高まったが12%、ある程度高まったが64%と合計は全学科平均とほぼ同じであった。一方、どちらとも言えないが17%、あまり高まらなかったが5%、まったく高まらなかったも2%と授業内容を十分に理解できなかった学生もいたことが伺える。
	年度総括	導入・基礎において実際にアプリケーションを扱ったプログラミングを行うという授業において、コンピューターの扱いの経験の浅い低年次学生が授業の速度について行けなかったと思われる。導入において基本的な用語や電算機概念を身近な事例に絡めて説明するなどの工夫をはかりたい。
U科	前期	導入：「かなり高まった」と回答した学生の割合が昨年度の9%から今年度の25%に3倍近く増えたことは評価できる。生命工学に関連した内容を、ていねいに講義したことによると考えられる。来年度はPCを使った簡単な作業をさせ、さらに興味を持つように試みる。 心得：「かなり高まった」あるいは「ある程度高まった」と回答した学生の割合が、昨年度の64%から今年度の69%と高い値で微増していることは評価できる。
	後期	導入・基礎：「かなり高まった」「ある程度高まった」と解答した学生の割合が70%であったことは評価できる。
	年度総括	全体として高い興味・関心の高まりが得られたことは評価できる。

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【工学部学科別】

設問3に対する所見

C科	前期	導入(キャリアデザイン)では8割の学生が、心得(技術者倫理)では9割近い学生が、「かなり高まった」あるいは「ある程度高まった」と回答しており、設問2とほぼ同じ割合であった。ただし、導入では、「かなり高まった」が3割を超え、設問2より高い割合となっている。OIT-MDASHの受講をきっかけに、今後の社会(土木分野)において数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能が重要と認識した結果といえる。
	後期	導入・基礎(基礎情報処理Ⅱ)では、「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせると、77%の結果となった。設問1, 2と同様に他学科と比較して同水準の傾向が把握できる。一方で、「どちらとも言えない」に20%の回答がある。この層の受講生にMDASHの必要性を理解できるように改善を要することが分かった。
	年度総括	導入、導入・基礎、心得ともに8割程度の学生が数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性が高まったと回答している。本テーマの重要性を認識させる授業が概ね展開できているものと考えられるが、設問2の関心を高める改善を図ることで、受講生がより重要性を認識できるように改善を図りたい。
A科	前期	授業内容を身近なことに結びつけ、加えて、建築に関する事項をできるだけ取り上げたことで「数理・データサイエンス・AI」に関する興味・関心とともに、重要性に関する理解も高まったと考える。昨年度「まったく高まらなかった」と回答した学生が、わずかではあるものの全学科平均より高いことから、建築学科の学生は、他学科と比べて「数理・データサイエンス・AI」に関する関心が薄いと思われると所見に書いたが、設問2の所見でも書いたように、設計(デザイン)における生成AIの可能性についてより具体的に説明したことで、学習の重要性に関する理解は高まった(「かなり高まった」と「ある程度高まった」の合計が93%で昨年度より9ポイントアップ)。
	後期	<p>[導入・基礎]</p> <p>「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせると、70%の結果となった。設問1, 2と同様に他学科と比較して良くない傾向が把握できる。また、「どちらとも言えない」に23%の回答があり、この層の受講生にMDASHの必要性を理解できるように工夫を要する改善が求められている。</p> <p>[心得]</p> <p>学生アンケートにおけるデータサイエンス等に関する知識や技能を身につける重要性についての集計結果から、9割以上の学生にとって重要度の高まりがみられた。かなり高まったと回答した学生が37%いるのは、情報セキュリティに関する話題をとりいれているからであろうが、9%の学生にとっては重要度の高まりがみられない。建築学科の学生を対象に改善するのは難しくはあるが、セキュリティを怠った場合のリスクに関するより身近な具体例について、講義資料の更新を図りたい。</p>
	年度総括	[導入]及び[心得]では、昨年度も肯定的な回答が8割を超えていたが、今年度はさらにその割合が増し、9割以上を占めた。一方で[導入・基礎]では、肯定的な回答が昨年度は8割を超えていたが、今年度は7割弱にとどまった。データサイエンスやAIに関する知識や技術を身につける必要性については、学生個々の興味・関心といったレベルではなく、授業を通じて履修者が理解できていると考えられるが、今年度は、昨年度以上に、彼らにとってはその職能にも関わる建築的事項を授業内容に取り入れたことで、肯定的な回答の割合が上昇したと考えられる。この点については今後も継続して取り組む必要があると考える。
M科	前期	導入では79%、心得では90%の回答者が「かなり高まった」あるいは「ある程度高まった」と回答していることから、多くの学生が数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける意識が高まったと捉えている。また、昨年度の結果と比較すると、導入では8%の増加、心得では1%の微減という結果になっている。導入の増加要因として、具体的かつホットな問題を提示することで、自分ごととして捉えることができたものと考えられる。心得の微減(ほぼ変化なし)については、問2と同様に昨年度からのホットな話題の導入が考えられる。また、今後の改善策としては、導入では興味を示すよりホットで具体的な問題を示すことが挙げられ、心得でもホットな具体例の提示が挙げられる。
	後期	導入・基礎(基礎情報処理Ⅱ)は84%の学生が「かなり高まった」または「ある程度高まった」と回答し、昨年の7割より改善している。しかしフォルダーの作成、ファイルのコピーなど、基本的なパソコンスキルの不足する学生が一部おり、授業内容よりも手順に追われている様子だった。数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性を高める内容や基本的な操作を一緒に、授業内で確認する方法を確立するなど、工夫をしていきたい。心得では84%の回答者が「強くそう思う」あるいは「ややそう思う」と回答していることから、多くの学生が数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける意識が高まったと捉えている。また、昨年度の結果と比較すると、心得では1%の微減という結果になっている。改善策としては、設問1と同様に最新の具体例を増やすことで対応したい。
	年度総括	導入では79%、導入・基礎では84%、心得では87%の回答者が「かなり高まった」あるいは「ある程度高まった」と回答していることから、多くの学生が数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける意識が高まったと捉えている。昨年度の結果と比較すると、導入では8%の増加、導入・基礎では12%の増加、心得では6%の減少という結果になっており、昨年度と同様に授業改善の効果が結果に反映されており、高い水準を保っている。
E科	前期	数理・データサイエンス・AIを学ぶ重要性についても、昨年度よりさらに改善し、86%の学生が「受講前と比べて高まった・やや高まった」と回答しており(昨年度比、+4%)、授業の目的が果たされていると考えている。
	後期	導入・基礎(基礎情報処理Ⅱ)は昨年度は8割以上の回答者が「かなり高まった」または「ある程度高まった」と回答したが、今年度は7割弱まで低下している。理由は明らかではないが、設問2で「どちらとも言えない」と答えた興味・関心の薄い回答者が重要性について理解できていない可能性があり、各回答者のこれらの問いに対する回答の対応を調べる必要があると思われる。
	年度総括	心得(技術者倫理)は、設問2と同様に昨年度よりも「かなり高まった」の回答が高まり、9割以上の学生が「かなり高まった」または「ある程度高まった」と答えている。設問2と同様、身近な話題・教材の提供により、学生自身が考察を行ったためと考えている。
D科	前期	科目により上下はあるものの、3科目の平均では全学科平均程度の83%の回答者が「かなり高まった」または「ある程度高まった」と回答している。設問2の興味・関心が低いと重要性の理解につながりにくい可能性もあり、いかに興味・関心を高めるかが一つのキーであると考えている。
	後期	科目により上下はあるものの、3科目の平均では全学科平均程度の83%の回答者が「かなり高まった」または「ある程度高まった」と回答している。設問2の興味・関心が低いと重要性の理解につながりにくい可能性もあり、いかに興味・関心を高めるかが一つのキーであると考えている。
	年度総括	科目により上下はあるものの、3科目の平均では全学科平均程度の83%の回答者が「かなり高まった」または「ある程度高まった」と回答している。設問2の興味・関心が低いと重要性の理解につながりにくい可能性もあり、いかに興味・関心を高めるかが一つのキーであると考えている。
K科	前期	前年度は「かなり高まった」36%、「ある程度高まった」51%でしたが、今年度はそれぞれ19%、59%となり、学生が高まったと回答した割合が若干低下しました。昨年度を踏襲し、今年度も、Society5.0、IoT、AI、ビッグデータ、脱炭素社会、デジタル革新についてイラストを使った説明を行いました。そのことに関連して自分たちのキャリアと結び付けて考える時間となる演習などが足りなかったことが要因の一つと考えています。来年度への改善点としたいと思います。
	後期	導入・基礎、心得、ともに8割以上の学生が「かなり高まった」「ある程度高まった」と回答している。導入・基礎では7回をOIT-MDASHに割り当てているが、心得では2回しか実施していないにも関わらず、これだけの学生が「かなり高まった」「ある程度高まった」と回答してくれたことは、授業を実施する側でも期待以上の効果であり、来年度もより機能や重要度を高める授業を展開したい。
	年度総括	受講前と比較してOIT-MDASHに関係する授業回を受講することで、数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性が高まっている。扱ったテーマ、領域、深さについてはより興味が高まる内容を継続して検討していく。
K科	前期	この設問に関しても、応用化学科「キャリアデザイン」履修学生(導入パート学修)の上位2選択肢回答率は90%と、工学部2位である。Society 5.0を説明した上で、今後の化学研究・化学技術においても「数理・データサイエンス・AI」の必要性を意識付けさせることができた、と認識している。
	後期	「心得」を担当する「工学倫理」の評価は「1. かなり高まった」5.0%、「2. ある程度高まった」4.6%と合計9.6%となっており、概ね「設問3」の知識を身につける重要性についての理解は得られたのではと考える。
	年度総括	応用化学科では、「キャリアデザイン」「基礎情報処理Ⅱ」「工学倫理」3教科における上位2選択肢の割合は、2023年度→2024年度で、それぞれ88→90%・71→75%・95→96%であり、「キャリアデザイン」「工学倫理」を通じて数理・データサイエンス・AIを身につける重要性について意識を高めることができたと言える。初年度「キャリアデザイン」授業を通じての意識づけは達成している。来年度は、まだまだ向上の余地がある「基礎情報処理Ⅱ」授業展開のブラッシュアップを求めたい。

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【工学部学科別】

V科	前期	数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性について、OIT MDASHに関係する授業回を受講して、受講前と比較して高まったかという問いに対して、かなり高まったが35%と全学科平均より高かった。また、ある程度高まったと回答した割合も57%と全体的に数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性を理解してもらえたことが伺えた。
	後期	数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性について、OIT MDASHに関係する授業回を受講して、受講前と比較して高まったかという問いに対して、かなり高まったが19%と全学科平均より低い水準だったが、ある程度高まったと回答した割合は59%と全体平均より高かった。全体的に数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性を理解してもらえたことが伺えた。
	年度総括	どちらも言えない、あまり高まらなかったの回答率が導入と比較して導入・基礎で増加しており、授業内容の高度化により理解度が下がると満足度も低下している可能性がある。学生の反応を見ながら授業進度を調整するなどの工夫を検討したい。
U科	前期	導入：「かなり高まった」または「ある程度高まった」と回答した学生の割合が昨年度の59%から今年度の74%に増えたことは評価できる。生命工学に関わるデータサイエンスの事例をていねいに説明したことによると考えられる。来年度は作業をとおして、実感を高めたい。 心得：「かなり高まった」または「ある程度高まった」と回答した学生の割合が昨年度の56%から今年度の86%と大きく増加したことは評価できる。
	後期	導入・基礎：「かなり高まった」「ある程度高まった」と解答した学生の割合が77%であったことは評価できる。
	年度総括	全体として数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性を理解した学生の割合が高いことは評価できる。

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【工学部学科別】

設問4 に対する所見

C科	前期	導入(キャリアデザイン)および心得(技術者倫理)ともに9割近い学生が「強く思う」または「やや思う」と回答しており、学生にとってわかりやすい授業であったといえる。導入は、OIT-MDASHに関連する内容を専門とする教員が授業を担当したことも含め、昨年度からの改善の成果があったと考える。
	後期	導入・基礎(基礎情報処理II)では、主として確率統計の基礎をExcelを活用して学習しながら、MDASHの導入・基礎の役割を果たしている。アンケートの結果を見ると、「強く思う」「やや思う」を合わせると76%の回答を得られたが、「やや思う」が48%であることから、導入・基礎の役割は果たしている。この結果を基に、設問1,2,3の回答が改善できるよう努めたい。
	年度総括	導入、導入・基礎、心得ともに8割程度の学生は分かりやすい授業であったと回答している。設問1や2に対する改善を図ることで、より多くの学生に分かりやすい授業となるよう努めたい。
A科	前期	授業では、基本的にはパワーポイントを用いて要点を説明したが、関連の動画なども活用した。また、配布資料は虫食い状態にして、要点を資料に記入させた。さらに、上述の通り、授業中に問題を解かせることで、学生が自ら考える必要が生じ、結果として授業内容の理解につながったと考える(「強く思う」と「やや思う」の合計が88%で昨年度より12ポイントアップ)。2023年度アンケートの自由記述(設問5)に演習時間が短いとのコメントが複数見られたことから、2024年度では演習を精選し演習時間も長いものとしたがそれでも時間が足りないとのコメントが確認できたことから、次年度はさらに演習の方法等を改善したいと考える。
	後期	[導入・基礎] 主として確率統計の基礎をExcelを活用して学習しながら、MDASHの導入・基礎の役割を果たしている。アンケートの結果を見ると、「強く思う」「やや思う」を合わせると64%の回答を得られたが、「やや思う」が45%であることから、導入・基礎の役割は果たしている。この結果を、設問1、2、3の回答が改善できるように再考していきたい。 [心得] 学生アンケートにおける分かり易さについての集計結果から、9割の学生にとっては丁度良い難易度であったと考える。この点、設問の内容的にも設問1と大差ない結果である。ただし、本授業科目における受講者数が50名程度であり若干少なく、今後は本科目そのものの受講者数を増やすべく、他の授業で建築に関連した情報系技術に関する内容を組み込み、こうした分野への関心を高めるといった対策が必要であるだろう。
	年度総括	[導入]及び[心得]では肯定的な回答が、それぞれ88%、90%と高い数値を示した。一方で[導入・基礎]では、肯定的な回答が昨年度同様7割に満たなかった。[導入]は、昨年度と比べて肯定的な回答の割合が12ポイント増加したが、授業内容を絞り、演習時間等を長く確保したことが結果につながったと考えられる。[導入・基礎]については、「設問5」の自由記述に、授業のスピードについていくのが難しいという意見が複数見られることから、授業内容をさらに絞り込み、また演習時間を長く取るなどの検討を行う必要があると考える。
M科	前期	導入では82%、心得では90%の回答者が「強く思う」あるいは「やや思う」と回答していることから、大半の学生がOIT-MDASHの授業はわかりやすいと感じている。また、昨年度の結果と比較すると、導入では2%の増加、心得では4%の微減という結果になっている。導入、心得とも、昨年度と比較して学生が感じる理解度に変化はないものと考えられる。また、今後の改善策としては、導入では、前述の通り、より最新の情報提供が必要と考えられ、心得では今後も継続的に図示することに加えてより丁寧な説明をすることが挙げられる。
	後期	導入・基礎(基礎情報処理II)は80%の学生が「強く思う」または「やや思う」と回答し、「どちらとも言えない」が改善している。しかし教科書での事前の予習を呼び掛け、課題を検討していただくことを前提とした授業を行ったが、結果的に授業内容を把握しきれない学生が若干名いた。授業のみでも入門者程度の学習成果が実感できるよう、実習時間を増やして成果が感じられるように工夫をしていきたい。心得では89%の回答者が「強く思う」あるいは「やや思う」と回答していることから、大半の学生がOIT-MDASHの授業はわかりやすいと感じていると考えられる。また、昨年度の結果と比較すると、2%の微増という結果にとどまっている。小難しい用語説明に多くの時間を割いたことが原因であると考え、改善策としては、用語を自宅で予習させること等に対応し、より分かりやすい授業を心掛けたい。
	年度総括	導入では82%、導入・基礎では80%、心得では90%の回答者が「強く思う」あるいは「やや思う」と回答していることから、大半の学生がOIT-MDASHの授業はわかりやすいと感じている。昨年度の結果と比較すると、導入では2%の微増、導入・基礎では4%の微増、心得では3%の微増という結果になっている。授業改善の効果が結果に反映されているものと考えられる。
E科	前期	約8割の学生が、授業が分かりやすかったと回答しており、授業担当者の適切な教授によるものであり、また、授業資料を学生に公開することで、自宅学習もしっかり行うことができ、学生の内容理解に繋がったと考えている。ただし、自由記述にあるように、内容の理解を確認するための課題を希望する声もあり、次年度以降の改善点として留意したい。
	後期	導入・基礎(基礎情報処理II)は「強く思う」または「やや思う」の回答が63%に低下した。設問2、3の傾向から、一部の受講者にとっては興味・関心が高まらないために、講義内容が十分に理解できていない可能性がある。 心得(技術者倫理)は半数が「強く思う」と回答し、「強く思う」または「やや思う」と回答した回答者は93%であった。教科書や資料を用い、教員が非常に分かりやすく例を示しながら説明した成果と考えている。
	年度総括	科目により上下はあるものの、3科目の平均では全学科平均程度の79%の回答者が「かなり高まった」または「ある程度高まった」と回答している。興味・関心が低い受講生は、講義中に講義内容の理解度が低く重要性を十分に理解できず、講義もわかりにくいと答えている可能性がある。興味・関心が高まるよう授業のブラッシュアップをさらにお願いし、次年度以降でより評価があがることを期待する。
D科	前期	前年度は「強く思う」26%、「やや思う」55%でしたが、今年度はそれぞれ23%、48%となり、分かりやすいと回答した学生の割合が若干低下しました。 昨年度よりも、学生同士で相談しながら課題に取り組む機会を設け、学生が主体的に授業に取り組む雰囲気作りが十分ではなかったと思われます。次回への改善点としたと思います。
	後期	この設問では、導入・基礎で14%、心得で13%の学生は「どちらとも言えない」と回答しており、ポジティブ回答は8割以上あるものの、この項目で回答した学生の割合はやや高いと言える。すべての学生にわかりやすく伝えることが理想ではあるものの、一部は無理かもしれないが、来年度はこの項目を回答する学生がより減るように内容を再度見直し実践したい。
	年度総括	今年もOIT-MDASHに関係する授業回は分かりやすい授業とのアンケート結果であった。授業のブラッシュアップを通じて次年度以降も、より評価があがるのではないかと期待している。
K科	前期	応用化学科履修生からは多くのコメントが寄せられている。その中で、否定的な意見は僅少であった。「数理・データサイエンス・AI」に対する意識の温度差が大きい応用化学科学生に対しては、「わかりやすく」「具体的に」「身近な話題を通じて」という基本方針で立案した授業展開は間違っていないことを確認した。
	後期	「心得」を担当する「工学倫理」の評価は「1. 強く思う」51%、「2. やや思う」46%と合計97%となっており、ほぼ、分かりやすい授業であったと評価いただいたのではと考える。次年度も身近な事例を取り入れた分かりやすい授業を心がけたい。
	年度総括	応用化学科では、「キャリアデザイン」「基礎情報処理II」「工学倫理」3教科における上位2選択肢の割合は、2023年度→2024年度で、それぞれ82→87%・63→72%・92→97%であった。授業担当者に省察を促す設問であり、「キャリアデザイン」「基礎情報処理II」のそれぞれの担当者は、この数字変化の意味と設問5で寄せられたコメントを踏まえて授業改善を心掛けたい。

OIT MDASH (リテラシー) 自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【工学部学科別】

V科	前期	OIT MDASHに関する授業回は、分かりやすい授業だったかという問いに対して、強く思うが35%と全学科平均を上回っていた。また、やや思うも48%と全体的に理解しやすい内容であったことが伺えた。他方、どちらとも言えないとの回答も17%あった。自由記述のコメントでは「グループワークがあって協力できたことが良かった」、「実践したことでより記憶に残った」等の意見が寄せられ、実際に手を動かして実践させることの重要性が伺えた。
	後期	OIT MDASHに関する授業回は、分かりやすい授業だったかという問いに対して、強く思うとやや思うが合わせて76%と全体平均とほぼ同水準であった。自由記述からも全体的に理解しやすい内容であったことが伺えた。他方、どちらとも言えないとの回答が17%、まったくそう思わないの回答も7%あり、自由記述のコメントから授業の内容の理解度にばらつきがあることが伺えた。
	年度総括	特に内容が高度になる基礎・導入で理解度に差が出ていることが伺えた。理解度の低い学生に対するサポートをし過ぎると全体の満足度は低下する。一人一台のPCを使用した演習であっても「できたものが遅れているものに教える」という状況を喚起するような形態が望ましいかもしれない。
U科	前期	導入：「強く思う」または「やや思う」と回答した学生の割合が昨年度の47%から今年度の68%に増加したことは評価できる。この設問と設問1は似ている。したがって、所見も同上である。来年度以降、設問4を削除するか、設問1との違いが明確に理解できるものにするを提案する。 心得：「強く思う」または「やや思う」と回答した学生の割合が昨年度の56%から今年度の74%に増加したことは評価できる。
	後期	導入・基礎：「強く思う」または「やや思う」と回答した学生の割合が67%であった。この数値をさらに上げられるようにしたい。
	年度総括	来年度、さらに理解度を高めるようにしたい。

赤字または青字は全学科平均以上を示す
網掛けの科目は後期開講科目を示す

設問1 OIT MDASHに関する授業回の内容はどの程度理解できましたか。

項目	全学科平均	ロボット工学科・システムデザイン工学科・空間デザイン学科		ロボット工学科	システムデザイン工学科	空間デザイン学科
		導入	心得	基礎	基礎	基礎
		基礎情報処理(3学科合同)	工学倫理(3学科合同)	確率・統計学	確率・統計学	確率・統計学
1 よく理解できた	25%	27%	21%	28%	35%	23%
2 ある程度理解できた	56%	47%	59%	52%	61%	65%
3 どちらとも言えない	17%	22%	16%	17%	4%	12%
4 あまり理解できなかった	2%	1%	3%	3%	0%	0%
5 まったく理解できなかった	0%	3%	1%	0%	0%	0%
<参考> 回答率	48%	35%	38%	76%	72%	78%
回答者数	417	108	118	75	23	93
受講者数	873	308	314	99	32	120

設問2 OIT MDASHに関する授業回の受講により数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心が高まりましたか。

項目	全学科平均	ロボット工学科・システムデザイン工学科・空間デザイン学科		ロボット工学科	システムデザイン工学科	空間デザイン学科
		導入	心得	基礎	基礎	基礎
		基礎情報処理(3学科合同)	工学倫理(3学科合同)	確率・統計学	確率・統計学	確率・統計学
1 かなり高まった	24%	27%	25%	25%	22%	18%
2 ある程度高まった	51%	44%	54%	48%	52%	56%
3 どちらとも言えない	19%	21%	14%	21%	26%	22%
4 あまり高まらなかった	4%	4%	7%	4%	0%	2%
5 まったく高まらなかった	2%	4%	0%	2%	0%	2%

設問3 数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性について、OIT MDASHに関する授業回を受講して、受講前と比較して高まりましたか。

項目	全学科平均	ロボット工学科・システムデザイン工学科・空間デザイン学科		ロボット工学科	システムデザイン工学科	空間デザイン学科
		導入	心得	基礎	基礎	基礎
		基礎情報処理(3学科合同)	工学倫理(3学科合同)	確率・統計学	確率・統計学	確率・統計学
1 かなり高まった	25%	28%	27%	25%	13%	24%
2 ある程度高まった	50%	43%	54%	49%	57%	52%
3 どちらとも言えない	21%	23%	14%	21%	30%	23%
4 あまり高まらなかった	2%	3%	3%	3%	0%	1%
5 まったく高まらなかった	2%	3%	2%	2%	0%	0%

設問4 OIT MDASHに関する授業回は、分かりやすい授業でしたか。

項目	全学科平均	ロボット工学科・システムデザイン工学科・空間デザイン学科		ロボット工学科	システムデザイン工学科	空間デザイン学科
		導入	心得	基礎	基礎	基礎
		基礎情報処理(3学科合同)	工学倫理(3学科合同)	確率・統計学	確率・統計学	確率・統計学
1 強くそう思う	32%	25%	31%	33%	39%	39%
2 ややそう思う	51%	49%	53%	47%	48%	54%
3 どちらとも言えない	15%	20%	15%	19%	13%	7%
4 あまりそう思わない	1%	3%	1%	1%	0%	0%
5 まったくそう思わない	1%	3%	0%	0%	0%	0%

設問5 OIT MDASHに関する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)

別記参照

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果 2024年度【ロボティクス&デザイン工学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関係する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。（自由記述）
ロボット工学科、システムデザイン工学科、空間デザイン学科	導入	基礎情報処理（合同）	<ul style="list-style-type: none"> ・課題で理解が難しい時がある ・OIT-MDASHが何かわからない ・知識を増やすことが出来て、とても勉強になりました。 ・資料を用いた授業がとても分かりやすかったです。
	心得	工学倫理（合同）	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことであり、授業も聞きやすく分かりやすかった。 ・最後あたりがかなり駆け足気味だったのもう少し時間に余裕を持った方が良いと思いました。 ・できれば小テストを事前告知して欲しいです。 ・授業でやった範囲で言えばかなり適切であったと感じています ・ほとんどのスライドに写真や画像があったのがとても分かりやすくて良かったです。特に、フィッシングサイトと偽警告によるインターネット詐欺(2)の画像が詐欺の巧妙さが分かりやすく表れていたと思います。 ・どの内容も、とても分かりやすい講義でした。 ・分けて説明してくれたのが分かりやすかった。それぞれの問題に対応した例を挙げていただいたので、内容が頭に入りやすかった。 ・声や話し方はとても聞き取りやすく、授業も分かりやすかった。仕方ないかもしれないけど情報が多かったので半分くらいしか頭に残ってなかった ・特になくすぐくデータに関して理解できた ・良かった点は分かりやすく説明していただいたことです。
ロボット工学科	基礎	確率・統計学	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし ・小中高のどこかで同じ話してない？ ・授業資料を配ってほしい。 ・M-DASHの授業は、第1回～か～第14回どちらかによせてほしい。 ・もう少しクイズや問題を増やして欲しい
システムデザイン工学科	基礎	確率・統計学	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が詳細まで書かれていたのでわかりやすかったです。
空間デザイン学科	基礎	確率・統計学	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいスライドで理解しやすかった ・一つの分野について理解が深まるような問題があり、わかりやすかった。

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【ロボティクス&デザイン工学部】

設問 1 に対する所見

前期	<p>○導入（基礎情報処理） 約70%は理解できたと回答しているので、概ね学生は内容を理解していると思うが、自由記述アンケートの結果も参考にしながらさらなる理解度向上に努めたい。</p> <p>○心得（工学倫理） 80%は理解できたと回答しているので、来年度も今年度を踏襲しつつ、わかりづらい点を改善したい</p>
後期	<p>○基礎（確率・統計学） どのクラスも80%は理解できたと回答しているので、概ね学生は内容を理解していると思われる。アンケートに高校までで学んだ内容を含んでいるという回答があったので、高校までの指導内容を調査してよりスムーズに学べるように改善していきたい。</p>
年度総括	<p>学科の特性に合わせた対応を行うことで通期にわたって理解できたの割合が80%以上の結果となった。今後も継続して改善に取り組みたい。</p>

設問 2 に対する所見

前期	<p>○導入（基礎情報処理） 約70%は関心が高まったと回答しているので、残り3割の学生の興味・関心を高めるような話題や授業構成を検討していきたい。</p> <p>○心得（工学倫理） 79%は関心が高まったと回答しているので、来年度も今年度を踏襲しつつ、最新の内容を取り入れてより関心を持てるようにしたい。</p>
後期	<p>○基礎（確率・統計学） どのクラスも70%以上の学生が関心が高まったと回答している。今後もさらに興味・関心を高めるよう授業方法を工夫していきたい。</p>
年度総括	<p>講義だけでなく、学生が興味を持つような演習を取り入れることにより、「高まらなかった」と回答した学生が減少した。各授業で改善点を見出しているため実践いただく。</p>

設問 3 に対する所見

前期	<p>○導入（基礎情報処理） 約70%は知識や技能を身につける重要性が高まったと回答しており、他の設問項目の回答同様に内容のブラッシュアップを図っていきたい。</p> <p>○心得（工学倫理） 81%以上は知識や技能を身につける重要性が高まったと回答しているので、来年度も今年度を踏襲しつつ、知識や技能を身につける重要性を訴求する内容をもう少し加えたい。</p>
後期	<p>○基礎（確率・統計学） どのクラスも70%以上の学生が知識や技能を身につける重要性が高まったと回答している。今後もそれらの重要性が認識できるよう授業方法を工夫していきたい。</p>
年度総括	<p>「かなり高まった」「ある程度高まった」の割合が昨年度よりも増えている。継続して、各授業にて知識や技能を身につける重要性を高める内容を盛り込むようにしていく。</p>

設問 4 に対する所見

前期	<p>○導入（基礎情報処理） 約70%がわかりやすかったと回答しているので、継続して分かりやすく理解が定着するような授業にしていきたい。</p> <p>○心得（工学倫理） 84%はわかりやすいと回答しており一定の目標は達成できていると思われるが、よりわかりやすい授業にする改善の余地があるので、来年度は取り組みたい。</p>
後期	<p>○基礎（確率・統計学） どのクラスも80%以上の学生が分かりやすいと回答している。アンケートによればスライドによる資料が理解しやすいようである。クイズなど記憶に残りやすいものをさらに取り入れることで、スライド資料を改善していきたい。</p>
年度総括	<p>全学科平均では、前年度より「わかりやすい」と回答した割合が減っている。各授業の担当者は次に向けて改善点を見出しているため実践いただく。</p>

OIT MDASH(リテラシー)自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【情報科学部】

赤字または青字は全学科平均以上を示す
網掛けの科目は後期開講科目を示す

設問1 OIT MDASHに関する授業回の内容はどの程度理解できましたか。

項目	全学科平均	データサイエンス学科			情報知能学科			情報システム学科		
		導入	基礎	心得	導入	基礎	心得	導入	基礎	心得
		コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論
1 よく理解できた	25%	21%	20%	33%	31%	14%	11%	23%	22%	32%
2 ある程度理解できた	57%	49%	40%	65%	53%	57%	80%	58%	63%	58%
3 どちらとも言えない	16%	26%	37%	2%	15%	21%	9%	13%	15%	10%
4 あまり理解できなかった	2%	4%	3%	0%	1%	0%	0%	6%	0%	0%
5 まったく理解できなかった	0%	0%	0%	0%	0%	8%	0%	0%	0%	0%
回答率	55%	64%	90%	73%	65%	29%	47%	47%	38%	66%
回答者数	690	47	65	43	62	14	45	48	32	62
受講者数	1257	74	72	59	95	49	96	103	84	94

項目	全学科平均	情報メディア学科			ネットワークデザイン学科		
		導入	基礎	心得	導入	基礎	心得
		コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論
1 よく理解できた	25%	23%	50%	27%	38%	10%	33%
2 ある程度理解できた	57%	55%	0%	63%	49%	51%	64%
3 どちらとも言えない	16%	20%	0%	10%	9%	26%	2%
4 あまり理解できなかった	2%	0%	0%	0%	4%	5%	0%
5 まったく理解できなかった	0%	2%	50%	0%	0%	8%	1%
回答率		69%	3%	64%	49%	53%	51%
回答者数		86	2	56	47	39	42
受講者数		125	68	88	95	73	82

設問2 OIT MDASHに関する授業回の受講により数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心が高まりましたか。

項目	全学科平均	データサイエンス学科			情報知能学科			情報システム学科		
		導入	基礎	心得	導入	基礎	心得	導入	基礎	心得
		コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論
1 かなり高まった	24%	26%	22%	35%	29%	21%	11%	23%	19%	24%
2 ある程度高まった	57%	62%	51%	58%	47%	57%	80%	52%	63%	68%
3 どちらとも言えない	17%	12%	25%	7%	19%	14%	7%	19%	18%	8%
4 あまり高まらなかった	2%	0%	2%	0%	3%	0%	2%	6%	0%	0%
5 まったく高まらなかった	0%	0%	0%	0%	2%	8%	0%	0%	0%	0%

項目	全学科平均	情報メディア学科			ネットワークデザイン学科		
		導入	基礎	心得	導入	基礎	心得
		コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論
1 かなり高まった	24%	21%	50%	23%	40%	10%	31%
2 ある程度高まった	57%	59%	0%	61%	34%	49%	57%
3 どちらとも言えない	17%	19%	0%	16%	21%	31%	12%
4 あまり高まらなかった	2%	0%	0%	0%	4%	5%	0%
5 まったく高まらなかった	0%	1%	50%	0%	1%	5%	0%

設問3 数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性について、OIT MDASHに関する授業回を受講して、受講前と比較して高まりましたか。

項目	全学科平均	データサイエンス学科			情報知能学科			情報システム学科		
		導入	基礎	心得	導入	基礎	心得	導入	基礎	心得
		コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論
1 かなり高まった	26%	23%	20%	30%	35%	21%	22%	21%	19%	31%
2 ある程度高まった	57%	53%	57%	67%	50%	50%	69%	52%	66%	61%
3 どちらとも言えない	14%	23%	20%	2%	13%	29%	7%	25%	15%	8%
4 あまり高まらなかった	2%	0%	3%	0%	2%	0%	2%	2%	0%	0%
5 まったく高まらなかった	1%	1%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

項目	全学科平均	情報メディア学科			ネットワークデザイン学科		
		導入	基礎	心得	導入	基礎	心得
		コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論
1 かなり高まった	26%	26%	0%	27%	36%	18%	33%
2 ある程度高まった	57%	56%	50%	63%	49%	46%	60%
3 どちらとも言えない	14%	17%	0%	9%	9%	26%	7%
4 あまり高まらなかった	2%	1%	0%	1%	4%	5%	0%
5 まったく高まらなかった	1%	0%	50%	0%	2%	5%	0%

設問4 OIT MDASHに関する授業回は、分かりやすい授業でしたか。

項目	全学科平均	データサイエンス学科			情報知能学科			情報システム学科		
		導入	基礎	心得	導入	基礎	心得	導入	基礎	心得
		コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論
1 強くそう思う	29%	30%	23%	33%	39%	14%	18%	21%	28%	42%
2 ややそう思う	54%	51%	46%	58%	45%	50%	73%	58%	56%	45%
3 どちらとも言えない	16%	19%	28%	9%	15%	36%	9%	21%	13%	11%
4 あまりそう思わない	1%	0%	3%	0%	1%	0%	0%	0%	3%	2%
5 まったくそう思わない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

項目	全学科平均	情報メディア学科			ネットワークデザイン学科		
		導入	基礎	心得	導入	基礎	心得
		コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論	コンピュータ入門	確率・統計	情報技術者論
1 強くそう思う	29%	20%	0%	32%	38%	15%	38%
2 ややそう思う	54%	55%	50%	61%	45%	56%	57%
3 どちらとも言えない	16%	23%	0%	7%	15%	18%	2%
4 あまりそう思わない	1%	2%	0%	0%	2%	8%	2%
5 まったくそう思わない	0%	0%	50%	0%	0%	3%	1%

設問5 OIT MDASHに関する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)

別記参照

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果 2024年度【情報科学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関係する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。（自由記述）
データサイエンス学科	導入	コンピュータ入門	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構造や内容がわかることができたので、いい授業だと思いました。 ・わかりやすく説明されてとてもよかった。 ・どんな内容を学べるか知ることができてよかった。 ・なし ・そのまま継続するべき ・普段知ることがないことを知れて、大きな学びになったと思う。 ・今後の勉強の役に立つことをたくさん学べてとても良かったと感じた。 ・あまり普通に生きていては知れないことをしれたのがよかった。 ・コンピュータ入門では演習時間が設けられていて良かった ・グーグルクラスルーム上に授業の資料を残してくださるので、後からもしっかりと復習することが出来て良かったです。 ・演習の解説がほしかったです。
	基礎	確率・統計	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例をもとに演習をしたのでわかりやすかった。 ・クラスルームのタイトルに括弧付きで書き込むなどで調べやすくしてほしい ・とても良かった ・演習の解説が分かりやすかったです。 ・わかりやすかったです ・数字の文字少なくしてほしい ・特になし
	心得	情報技術者論	<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容の一部は断片的に聞いたことがあるものもあったが、全体的にまとめられていたためとても理解しやすかった。 ・特になし
情報知能学科	導入	コンピュータ入門	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり記憶に残っていない ・画像付きで説明してくれたのでやりやすかった。 ・とても分かりやすかったです。 ・授業のスピードが少し早かった
	基礎	確率・統計	<ul style="list-style-type: none"> ・行っていない。
	心得	情報技術者論	<ul style="list-style-type: none"> ・便利な世の中であるからこそただ単に便利だけ使っていくとリテラシーがない状態だと振り回される。 ・わかりやすかったです。
情報システム学科	導入	コンピュータ入門	<ul style="list-style-type: none"> ・どの回がこれに該当するか分からなかった。 ・導入としては良かったと思う ・agiのような興味が惹かれる授業を多くして欲しいと思いました。 ・リアルタイムで動くプレゼンテーションの存在は便利だった。 ・なし ・ポイントが分かりやすかった ・なし
	基礎	確率・統計	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり理解出来なかったので1回の授業で扱うのではなく何回かの授業に分けた方がいいと思う。 ・身近にある事象を取り上げてくれる点、中間テストで理解度が確認できる点がよかった点だと感じます ・解説が分かりやすかったこと
	心得	情報技術者論	<ul style="list-style-type: none"> ・生成AIの問題に関しては身近に考えさせられている問題なので大変ためになりました。 ・データサイエンス・AIを利用する上での問題点・注意点を過去の事例を踏まえながら、理解することができた。 ・AIやデータサイエンスに関する幅広い事柄について知ることができるのは良かったが、内容が多く説明がかなり駆け足で少しもったいなく感じた。 ・ELSI、GDPR、データ取り扱いの健全性についての理解が深まりました。 ・かなり駆け足での授業であったが、非常に網羅的にわかりやすく講義を頂けたので良い授業であったと思う。

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果 2024年度【情報科学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。（自由記述）
情報メディア学科	導入	コンピュータ入門	<ul style="list-style-type: none"> ・ない ・気をつけなければならないことを再確認できて良かった。
	基礎	確率・統計	<ul style="list-style-type: none"> ・なし
	心得	情報技術者論	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の事例をもっと多く扱って欲しい ・OIT-MDASH自体があまり知られていない ・要点がまとめられていて、どうやってAIと向き合うかがわかりいい授業だった ・特にありません
ネットワークデザイン学科	導入	コンピュータ入門	<ul style="list-style-type: none"> ・とても為になる内容でした。話を聞いてよかったです。
	基礎	確率・統計	<ul style="list-style-type: none"> ・ない ・毎回の復習時間が非常に助かった。
	心得	情報技術者論	<ul style="list-style-type: none"> 情報量が多すぎると思った。2回くらいに分けてほしい

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【情報科学部】

設問1に対する所見

前期	<p>1年次のコンピュータ入門については、全ての学科について、「よく理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した学生が合わせて80%であり、昨年度85%より減少した。入門的科目であり、一層、授業内容をわかりやすいものに改良していく必要がある。</p> <p>3年次の確率・統計は数学的な思考能力が必要な科目であり、「よく理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した学生が合わせて約60%で昨年度から変化はない。苦手意識を持つ学生が依然として多いように思われる。設問5では、「演習の解説が分かりやすかったです。」「身近にある事象を取り上げてくれる点、中間テストで理解度が確認できる点があった」などの肯定的な意見が得られた。一方、IC科では「行っていない。」という設問5のコメントもあり、当該授業回がどのように数理・データサイエンス・AIに関わっているのかをより関連付けながらの授業運営を改善する必要があると考えられる。アンケート回収率は、両科目とも前年度より大きく改善が見られた。IM科は確率統計の回答率が10%前後と低く、通常の授業アンケートとの混同に原因がありそうなので、次年度は、授業における周知方法を改善することが考えられる。</p> <p>「導入」</p> <p>(ID科)コンピュータ入門について、「よく理解できた」、「ある程度理解できた」が70%となり、昨年度より低下した。回答者数がほぼ同じであることを考えると、今年度の授業の進め方や説明においてMDASHの強調が少なかつた可能性があるため、来年度はより意識づけをするための方法を検討する。</p> <p>(IC科)コンピュータ入門「よく理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した学生が合わせて84%であり、昨年度の88%よりもやや低下したが、概ね理解してもらえたと考えられる。</p> <p>(IS科)「よく理解できた」「ある程度理解できた」が81%と去年より少し落ちたが同程度となった。理解度としては問題ない範囲と考えている。</p> <p>(IM科) IM科導入は、「よく理解できた」「ある程度理解できた」で78%を占め、授業内容をほぼ理解できていることがわかる。</p> <p>(IN科) 前年度に引き続き「よく理解できた」「ある程度理解できた」と回答した学生が合わせて80%以上であり、昨年度よりも2%増加した。一方で、「あまり理解できなかった」と回答した学生が4%増加しており、より分かりやすい講義になるよう改善していく。また、興味を継続してもらうためにも、最新の事例を取り上げていく必要がある。</p> <p>「基礎」</p> <p>(ID科) 確率・統計においては、60%が理解出来たと回答している。</p> <p>(IS科, IN科) IS科の確率統計は2年生科目、IN科の確率統計は3年生科目である。本年度は、両学科に対してはアンケート回答への呼びかけを行ったため、回答者数は昨年度計19名から今年度72名に増加した。回答率は50%をまだ切っている状況なので、アンケート回答への呼びかけは次年度も課題となる。また、MDASH授業回の一部を第14週に設定していることが、回答者数の減少になっているとも考えられるので、次年度は講義順の入れ替えも検討したい。設問1は、両学科とも肯定的な回答が多数であったので問題ないと考えられる。</p> <p>(IC科, IM科) 情報知能学科と情報メディア学科の確率・統計について、回答率が低いため妥当な判断が難しいが、情報知能学科については7割以上が「よく理解できた」「ある程度理解できた」と回答しておりそれほど悪くないと考えられる。</p>
後期	<p>「心得」心得を教授する情報技術者論では、全ての学科について、「よく理解できた」が昨年度の24%から27%に増加しており、更に「よく理解できた」、「ある程度理解できた」を合わせて全体で93%であり、昨年度の91%より改善している。また設問5でも「全体にまとめられていて理解しやすかった」とコメントされている。よって当該授業として十分役割を果たしていると考えられる。</p>
年度総括	<p>「導入」については、全体で約80%が「よく理解できた」、「ある程度理解できた」と回答しており、昨年度85%より若干低下している。「基礎」については、全体で約65%が「よく理解できた」、「ある程度理解できた」と回答しており昨年度66%からあまり変化はない。「心得」については、全体で約93%が「よく理解できた」、「ある程度理解できた」と回答しており、昨年度91%より若干改善している。「基礎」を担当する確率統計の理解度向上が今後の課題である。</p>

設問2に対する所見

前期	<p>1年次のコンピュータ入門については、「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせて学部全体で79%であり、昨年度と同等であった。</p> <p>3年次の確率・統計については、「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせて学部全体で68%であり、昨年度と同等であった。引き続き、当該授業回がどのように数理・データサイエンス・AIに関わっているのかをより関連付けながらの授業運営を目指す。なお、IM科は確率統計の回答率が10%前後と低く、全体として本回答結果から妥当な判断ができない回答率となっている。</p> <p>「導入」</p> <p>(ID科) コンピュータ入門について、「かなり高まった」「ある程度高まった」が88%となっており、設問1とは反対に昨年度より向上した。このことから、理解は深まらなくとも、興味を持つような内容であったことがわかる。さらに、「あまり高まらなかった」、「まったく高まらなかった」、が0%であることから興味を持つことができた判断できる。</p> <p>(IC科) コンピュータ入門「かなり高まった」、「ある程度高まった」と回答した学生が合わせて76%と昨年度の85%から低下し、代わりに「あまり高まらなかった」、「全く高まらなかった」と解答した学生が5%存在した。授業内容は昨年度と同じなので、今年度は昨年度よりも関心の薄い学生が増えた可能性があり、今後の変化に注意する必要がある。</p> <p>(IS科) 「よく理解できた」「ある程度理解できた」が75%と興味・関心を多くの学生について高めることができた</p> <p>(IM科) 導入は、「かなり高まった」「ある程度高まった」で80%を占め、興味・関心が高まっていることがうかがえる。</p> <p>(IN科) 前年度は「かなり高まった」「ある程度高まった」が73%であったが、今年度は74%で昨年と同様の結果となった。今後さらに改善していくためには、今後のキャリアにおいてどのように役立つかの具体的な事例を挙げるなど興味・関心をもつ内容を含めていく必要がある。</p> <p>「基礎」</p> <p>(ID科) 確率・統計においては、70%以上が興味関心が高まったと回答している。</p> <p>(IS科, IN学科) 確率統計についての回答は、どちらも肯定的なものが過半数で問題ないと考えられる。</p> <p>(IC科, IM科) 設問1と同じ。</p>
後期	<p>「心得」情報技術者論における興味・関心度について、「かなり高まった」「ある程度高まった」は全体で90%であり、昨年度の86%より改善している。設問5でも「生成AIの問題に関しては身近に考えさせられている問題なので大変ためになった」とのコメントがあり、内容に関してかなり関心を高める講義となっていると考えられる。</p>
年度総括	<p>「導入」については、「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせて学部全体で79%であり、昨年度77%と同等であった。「基礎」については、全体で約68%が「かなり高まった」「ある程度高まった」と回答しており昨年度70%からあまり変化はない。「心得」については、全体で約90%が「かなり高まった」「ある程度高まった」と回答しており昨年度86%より改善している。一部の学科で「基礎」を担当する確率統計に対する関心が低い点が見られ今後の課題である。</p>

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【情報科学部】

設問3に対する所見

前期	<p>1年次のコンピュータ入門については、「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせて学部全体で80%であり、昨年度と同等であった。設問5のコメントでも肯定的な意見が得られた。</p> <p>3年次の確率・統計については、「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせて学部全体で69%であり、昨年度の58%を上回った。引き続き、当該授業回がどのように数理・データサイエンス・AIに関わっているのかをより関連付けながらの授業運営を目指す。なお、IM科は確率統計の回答率が10%前後と低く、全体として本回答結果から妥当な判断ができない回答率となっている。</p> <p>「導入」</p> <p>(ID科)コンピュータ入門について、「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせて76%であった。設問1に近い分布であることから、興味は持てたものの、理解が深まっていないため、その重要性についても伝わっていないのではないかと考えられる。興味は持っていることから理解を深めることで改善されると考察する。</p> <p>(IC科)コンピュータ入門「かなり高まった」、「ある程度高まった」と回答した学生が合わせて85%であり、昨年度の89%よりもやや低下したが、概ね重要性は認識してもらえたと考えられる。</p> <p>(IS科)「よく理解できた」「ある程度理解できた」が73%と重要性については十分アピールできたと考えている</p> <p>(IM科) 導入は、「かなり高まった」「ある程度高まった」で78%を占め、授業の効果があったといえる。</p> <p>(IN科) 前年度は「かなり高まった」は21%であったが、今年度は36%と大きく増加した。全体的にも身につける重要性は増加している。要因としては、生成AIが世の中に定着してきており、それらを理解していくことが今後のキャリア設計においても重要であることを学生が認識したためと思われる。</p> <p>「基礎」</p> <p>(ID科) 確率・統計においては、80%近くが重要性の認識が高まったと回答している。</p> <p>(IS科, IN科) 確率統計についての回答は、どちらも肯定的なものが過半数で問題ないと考えられる。</p> <p>(IC科, IM科) 設問1に同じ。</p>
後期	<p>「心得」情報技術者論における重要性の意識向上について、全学科で「かなり高まった」「ある程度高まった」が93%であり、昨年度の89%より改善している。生成AI等の昨今話題となっている内容を取り入れ、より具体的な授業内容であったことが理由の一つであると考えられる。</p>
年度総括	<p>「導入」については、MDASHを身につける重要性の認識について「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせて学部全体で80%であり、昨年度80%と同等であった。「基礎」については、全体で約69%が「かなり高まった」「ある程度高まった」と回答しており昨年度58%から改善した。「心得」については、全体で約93%が「かなり高まった」「ある程度高まった」と回答しており昨年度89%より改善している。一部の学科で「基礎」を担当する確率統計に対してMDASHを身につける重要性の認識が低い点が見られ今後の課題である。</p>

設問4に対する所見

前期	<p>1年次のコンピュータ入門については、「強くそう思う」「ややそう思う」を合わせて、を合わせて学部全体で80%であり、昨年度の83%と同等であった。設問5のコメントでも肯定的な意見が得られた。設問5からも、「わかりやすく説明されてとてもよかった。」「リアルタイムで動くプレゼンテーションの存在は便利だった。」などの分かりやすさに関する肯定的な意見が多かった。</p> <p>3年次の確率・統計については、「かなり高まった」「ある程度高まった」を合わせて学部全体で68%であり、昨年度の70%と同等であった。設問5からも、「演習の解説が分かりやすかったです。」「毎回の復習時間が非常に助かった。」などの肯定的な意見がある一方、「あまり理解出来なかったので1回の授業で扱うのではなく何回かの授業に分けた方がいいと思う。」という意見も見られた。改善策としては、AIデータサイエンスとの関連部分、導入部分の解説方法の改善や、数式の提示方法の改善などが考えられる。</p> <p>「導入」</p> <p>(ID科) コンピュータ入門について、「強くそう思う」「ややそう思う」を合わせて81%であり、昨年度と同じであった。さらに「あまりそうは思わない」、「全くそうは思わない」が0%であることから、比較的分かりやすい説明であったことが分かる。このことから、設問1にも関連して、説明の分かりやすさだけでなく、演習を増やすなどしてより理解できたということが実感できるような内容への改善が考えられる。</p> <p>(IC科) 「強くそう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が合わせて84%であり、昨年度の89%よりもやや低下したが、概ねわかりやすい授業はできていたと考えられる。学生コメントで「授業のスピードが速過ぎた」との意見があったので、今後改善の検討が必要である。</p> <p>(IS科) 同じく上位2つの項目が79%と高くなっている。また、下位2項目を選択した学生もいないため、分かりやすさは十分だったと考えられる。</p> <p>(IM科) 導入は、「強くそう思う」「ややそう思う」で75%を占め、わかりやすい授業であったといえる。</p> <p>(IN科) 前年度・今年度ともに、「強く思う」「やや思う」が80%を超えており、分かりやすい授業が行えているものと捉えることができる。さらに改善するには、どのような点がわかりにくかったかなどの声が学生から聞ける仕組みを考えていく必要がある。</p> <p>「基礎」</p> <p>(ID科) 確率・統計においては、70%近くが分かりやすかったと回答している。</p> <p>(IS科, IN科) 確率統計についての回答は、どちらも肯定的なものが過半数で問題ないと考えられる。</p> <p>(IC科, IM科) 設問1に同じ。</p>
後期	<p>「心得」情報技術者論における分かりやすさについて、全学科で「強くそう思う」「ややそう思う」が全体で91%であり、昨年度の88%を上回っている。授業内容が十分伝わっていると考えられる。</p>
年度総括	<p>「導入」については、分かりやすい授業と「強くそう思う」「ややそう思う」を合わせて学部全体で80%であり、昨年度83%より若干低下した。「基礎」については、全体で約68%が「強くそう思う」「ややそう思う」と回答しており昨年度70%と同等である。「心得」については、全体で約91%が「強くそう思う」「ややそう思う」と回答しており昨年度88%より改善している。科目の特性上、確率・統計については、依然として分かりやすさが低い結果となっているが、数理・データサイエンス・AIを十分使いこなすことができるためには、確率・統計に関する理解や運用能力が重要な役割を果たすため、引き続き、確率・統計の分かりやすさの向上が今後の課題である。</p>

OIT MDASH(リテラシー)自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【知的財産学部】

赤字または青字はは全体平均以上を示す
網掛けの科目は後期開講科目を示す

設問1 OIT MDASHに関する授業回の内容はどの程度理解できましたか。

項目	全体平均	知的財産学科						
		導入			基礎			
		ICTリテラシー	情報技術と特許	データリテラシー	ICTリテラシー	データリテラシー	知財情報分析	データリテラシー
1 よく理解できた	33%	30%	35%	36%			32%	
2 ある程度理解できた	45%	40%	45%	49%			47%	
3 どちらとも言えない	18%	25%	14%	14%			19%	
4 あまり理解できなかった	3%	5%	6%	0%			1%	
5 まったく理解できなかった	1%	0%	0%	1%			1%	

<参考>	回答率	64%	46%	61%	85%		75%	
	回答者数(延)	286	77	51	84		74	
	受講者数	450	169	83	99		99	

設問2 OIT MDASHに関する授業回の受講により数理・データサイエンス・AIに対する興味・関心が高まりましたか。

項目	全体平均	知的財産学科						
		導入			基礎			
		ICTリテラシー	情報技術と特許	データリテラシー	ICTリテラシー	データリテラシー	知財情報分析	データリテラシー
1 かなり高まった	27%	29%	33%	27%			22%	
2 ある程度高まった	55%	52%	55%	58%			54%	
3 どちらとも言えない	15%	17%	12%	12%			18%	
4 あまり高まらなかった	3%	2%	0%	2%			6%	
5 まったく高まらなかった	0%	0%	0%	1%			0%	

設問3 数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を身につける重要性について、OIT MDASHに関する授業回を受講して、受講前と比較して高まりましたか。

項目	全体平均	知的財産学科						
		導入			基礎			
		ICTリテラシー	情報技術と特許	データリテラシー	ICTリテラシー	データリテラシー	知財情報分析	データリテラシー
1 かなり高まった	29%	23%	31%	29%			32%	
2 ある程度高まった	51%	52%	53%	57%			43%	
3 どちらとも言えない	18%	22%	16%	13%			22%	
4 あまり高まらなかった	2%	3%	0%	1%			3%	
5 まったく高まらなかった	0%	0%	0%	0%			0%	

設問4 OIT MDASHに関する授業回は、分かりやすい授業でしたか。

項目	全体平均	知的財産学科						
		導入			基礎			
		ICTリテラシー	情報技術と特許	データリテラシー	ICTリテラシー	データリテラシー	知財情報分析	データリテラシー
1 強くそう思う	35%	35%	39%	35%			32%	
2 ややそう思う	49%	48%	47%	52%			47%	
3 どちらとも言えない	14%	13%	14%	12%			18%	
4 あまりそう思わない	2%	3%	0%	1%			3%	
5 まったくそう思わない	0%	1%	0%	0%			0%	

設問5 OIT MDASHに関する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)

別記参照

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果 2024年度【知的財産学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。（自由記述）
知的財産学科	導入	ICTリテラシー	<p>・パソコンを扱う能力が向上し特許、商標、意匠を幅広く学ぶことができる。</p> <p>・得た知識：AIを実際に活用した課題によって、どのようなものなのかを考えることができた。Excelを初めて触れることができた。 改善事項：Excelをもう少し長めに授業してほしい。</p> <p>・得た知識：ExcelやWordの細かい使い方を知ることができた。改善事項：作業を効率的に操作できるノウハウを知る。</p> <p>・特になし</p> <p>・得た知識：lotは、人間の生活を豊かにしていると感じた。これまで埋もれていたデータをサーバー上で、処理、変換、分析、連携することが可能になったからだ。改善事項：特になし。統計分析、情報可視化について、幅広く教えてくれた。ICTの分野知らなくても、分かりやすかった。また、たくさんの知識が身についた。</p> <p>・得た知識：AIやIoTについての詳細な内容を理解した。</p> <p>・得た知識：コンピュータプログラムに関する様々な知識。特許調査などの具体的な方法。改善事項：統計分析、情報可視化という領域においてはデータの収集手法や、データの質、形式などの要素が必要になると思いました。</p> <p>・少しペースが速かったので、機械が得意な人にももう少し分かりやすく説明してほしい</p> <p>・アプリをダウンロードしていなかったことが多かったため授業最後に次週必要なアプリがある場合呼びかけてほしい</p> <p>・AIについてよく知れた。</p> <p>・得た知識：エクセルを使用して講義で学んだ内容の中で、特に記憶に残った可能性のあるポイントは以下です：①基本的な関数の活用：平均(AVERAGE)、合計(SUM)、最大値・最小値(MAX, MIN)といった基本的な関数が、データの概要把握に有効であること。②データの整理と並べ替え：フィルター機能や並べ替え(昇順・降順)を用いて、大量のデータを整理する方法。③グラフ作成機能の活用：折れ線グラフ、棒グラフ、円グラフなどを使用して、データを視覚化することの重要性。改善事項：エクセルをさらに効果的に活用するため、次年度以降の講義で取り入れると良いと考えられる改善事項：①データ前処理の方法：欠損値を埋める、重複データを削除する、外れ値を確認するといった前処理をエクセルで実行する具体的な方法を解説する。高度な関数の紹介：VLOOKUP、XLOOKUP、IF関数、COUNTIF、INDEX-MATCHなど、条件に基づいた分析や複雑なデータ処理が可能な関数を学ぶ機会を増やす。</p> <p>・特になし</p> <p>・AIやjplatpat、Wordの使い方を学べた点が良かった</p> <p>・一つ一つ丁寧だったのでとても分かりやすかった</p> <p>・得た知識：特許調査。理由：j platpatの使い方を習得することができた。改善事項：実データを扱う経験、プログラミングスキル、可視化デザインの知識</p> <p>・やや進むスピードがはや作業などが分からなくなる時があったのでスピードを改善してほしい。</p> <p>・得た知識：jplatpatでの検索の仕方、Excelの使い方。改善事項：PowerPoint、Excelの使い方をもう少し詳しく知りたかった。</p> <p>・得た知識：エクセルの使い方や、J-platapat、AIを用いてPDFの要約をする等、他の授業でも使えるICTに関する知識が知れてよかったです。改善事項：毎回の課題が大変でした。</p> <p>・得た知識：Excelのテーブルの作り方や使い方などが参考になった。改善事項：グラフから何が読み取れるかの深堀りなど</p> <p>・得た知識：ICT全般の浅い知識。改善事項：浅い知識だけではなく、詳しい話も聞きたいと思いました。</p> <p>・得た知識：AIについてとその活用。notebooklmを用いて実際にAIを使用して課題を行ったため印象に残っています。AIが身近な存在であることが分かり使えるようにしておこうと思えるいい機会でした。改善事項：特になし</p> <p>・得た知識：Jプラットフォームで、請求の範囲や出願人、出願日などを条件に入れると条件が絞られて特許などを調べられること。調べ方は難しいけどある程度は把握できた。改善事項：コミュニケーション力、分析結果の評価など。そして複雑なデータを最もわかりやすく簡単に伝える能力</p> <p>・AIを使って課題に取り組むのは、他の教科ではいいとされていないのでやり方を知らなかったけど、この授業でどのように利用すべきなのか少し知ることが出来たのがよかったです。全体的に難しい言葉が多くて理解するのに時間がかかってしまいました。</p> <p>・教えてくれる人を少し増やしてほしいです。</p> <p>・得た知識：パワーポイントやエクセルの使い方、パソコンやAIなどの活用方法など。改善事項：特になし。理由他の授業よりも先生が生徒の意見を聞いたり、わからないところがあるとすぐに教えに来てくれるので良かったです。</p> <p>・ワードやエクセルなど社会に出てからも利用する機会が多いものを利用した講義は有意義になりました。また、実際に特許や、意匠を検索する講義も、現段階では知的財産の座学の部分しか学習できていなかったで、このような知的財産の業務の部分にも触れられる講義はとても面白かったです。パワーポイントを利用した統計分析、情報可視化の講義をもっと受けてみたかったです。</p> <p>・日本語が少しだけ理解できると助かります。</p> <p>・スピードがちょうどよかった</p> <p>・授業は分かりやすかったし、面白かったのですが、周りがうるさすぎました</p> <p>・Excel、Word、PowerPointの使用方法を教えてもらったのが今後とても役に立つので助かった。</p> <p>・難しい部分もありました。</p> <p>・一つ一つ丁寧な教え方だったのですぐわかりやすかった。部屋の側面の映像を見ていたので正面と映っている部分が違ったりすると困った。</p> <p>・エクセルやパワーポイントの使い方、ジェープラットフォームを使用し、知的財産についての知識など、さまざまな面で学ぶことができた。</p> <p>・jplatpatで既存の特許を調べる方法を学んだ。Excelを使った資料の作成などが必要だと感じた。</p> <p>・得た知識：AIの仕組みや実態についての知識。理由、AIは今の日本において切っても切れない存在であり、いずれ人間の役務がAIに変わっていくことに目を背くことはできないから。エクセルを使っての自動計算の仕方についての知識。理由、あるワードを入力することで式を作ることができ、表やグラフを容易に作ることができる。これは、将来の実務で確実に使うことになると思ったから。改善：色々なAIの使い方の指導。このAIは何に特化しているのかなど。</p>

OIT MDASH (リテラシー) 自己点検 独自アンケート結果 2024年度【知的財産学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。(自由記述)
	導入	情報技術と特許	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府の記事を参照することで具体的な活用事例と照らし合わせながら理解することができました。 ・説明がわかりやすかったです ・CPU,GPU、メモリについて一つずつ丁寧に説明してくれていた。 ・特になし ・クラスルームの資料だけでなく、黒板にも図や言葉を用いて補足していたのがすごくわかりやすかった。 ・身近なことを例に挙げてくれていたのでわかりやすかった。 ・特にないです… ・最高でした ・細かいところはスクリーンだけでなく、黒板に書いて説明してくださるのでわかりやすかった
	導入	データリテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし ・得た知識：手間・時間を省く作業(平均値や最大値などの他にもExcelの使い方ひとつで何分何秒も時間を効率的に使うことができると感じたため。)改善事項：特になし ・得た知識：根本的かつ実用的なExcelの使い方。関数に関する知識はいくらあってもよい。改善事項：授業内容に関してはないが、受講環境が劣悪。教師ではなく学生の問題ではあるが改善求む。 ・得た知識：出願件数と査定率のグラフを作り、考察したこと。改善事項：パソコンがエラーになって初めからの操作になってしまい、そのまま授業についていけなくなるため、一度授業の途中で保存し提出するようにしてほしい。 ・得た知識：まとめた数値やデータをグラフにし見やすくしたり比較しやすくなるようになった。改善事項：少し授業の進むスピードが速いです。 ・得た知識：出願件数と査定率のグラフを作り、考察したこと。改善事項:パソコンのデータが途中で消えてしまう時があり消えてしまうと授業について行けなくなるので授業の途中などで一度提出するタイミングを設けて欲しいです。 ・エクセルについてよく理解できた ・ないです ・得た知識：世の中にあるデータを使ってグラフなどで可視化するやり方。改善事項：特にありません。 ・Excelを使用したデータの処理方法について理解することができた。 ・得た知識：様々な情報をエクセルを用いてデータを分析する方法を得た。改善事項：講義をもう少しスムーズに行えるようにして欲しい。 ・得た知識：エクセルの中での様々なグラフを作成する知識を得た。改善事項：作業をする上での説明が少し早い時があつてついていけない時があった。 ・得た知識：Excelを上手く活用出来るようになった。改善事項：タイピング ・エクセルの使い方がすごく良くわかった。改善点は今のところない。 ・自分たちの進捗状況に合わせて、わかりやすく授業を進めていただいたのでやりやすい。 ・得た知識：データを調べて画像りつける作業を毎回の授業でやってきたが、画像から分かることを自分で考えて書くことが重要だと分かった。理由として、ただ話を聞いて進めるのではなく自分で考えら事でより理解を深められるようになったと感じたからである。改善事項：データを調べる前にただ先生が言ったことを行って読み取るだけの作業になってしまう時があるため、データについてもっと理解を深めてグラフなどを見ていきたいと感じた。 ・パソコン操作わからないことがまだ多いのでこれからも学んでいきたいです。 ・得た知識 エクセルのグラフや図面などを覚えたため将来に生きてくる。改善事項 グラフ修正してもらって完璧になるんじゃないかと、自分でできるようにする ・パソコンの分からないことがこの授業を通して理解できるため良かった。 ・得た知識：データの表示の仕方を学ぶことができた。 ・エクセルの使い方を前より理解することが出来た。説明が早く理解できなかったところがあったので、もう少しゆっくりして欲しいかった。 ・エクセルの使い方やデータのまとめ方などができるようになった。 ・得た知識：Excelでより多くの作業ができるようになった。改善事項：教室に人が多く進み具合がバラバラになり効率よく授業が進んでいない ・得た知識で記憶に残った要素は、「確認バイアス」の説明である。確認バイアス通じ、私たちが先入観に基づいて情報を解釈しがちな点を改めて認識しました。自分の視点が偏らないように、様々な観点から物事を考える重要性を学べたことが印象に残りました。改善事項としては、基礎知識をもっと身に付ける必要を感じた。 ・エクセルの理解度が高まった。 ・講義の進行がゆっくりなので理解して取り組めた ・特になし。 ・パソコンの知識が高まったと感じたのでよかったです。また、生徒目線で授業のスピードを柔軟に対応してくださるので、やりやすかったです。 ・得た知識：エクセル使用の際に、一時保存してから書式をいじっていくこと。(書式が崩れなくなる、?)改善事項：統計分析において、今回行った内容では少し複雑であると感じたので、簡易的な統計の導き方があるなら、それについて学びたい。 ・良かった点：授業後半で、授業についていけない人のフォローアップの時間を設けられているのがよい。改善してほしい点：教室がうるさくて指示が聞き取れない・スクリーンで見れない時が多々あるので、状況に応じて、ホワイトボードにも記入してほしい ・得た知識：Excelを使った、グラフの可視化や情報の見方。改善点：ありません。 ・得た知識：数値を理解してグラフに自分で表示する方法を知った。改善事項：わからないときに対処してもらえないときがあるのでもう少しゆっくり授業を進めてほしいときがあります。 ・理解しながら作業をこなすのに良いペースだと感じています。 ・得た知識：個人情報とは何かをデータ等を活用して改めて理解した。普段「個人情報」という言葉を耳にしたり口にしたりするが、細かにどういふものかははっきりと理解していなかったため。改善事項：匿名加工情報の部分をもう少し詳しく知りたかった。個人情報を匿名化することは今後どこかで必要になってくると考えたため。 ・得た知識：データの分布について。平均値・中央値・最頻値を比べ、判断するべきということ。改善事項：今回得た、エクセルにつ

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果 2024年度【知的財産学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。（自由記述）
			<p>いての機能を使いこなせるように、試行回数を重ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得た知識はExcelで、色んな数値を見やすくグラフや表にするやり方を学んだ。改善事項はデータを利用するにあたって知的財産での活用方法がどうい時にいるのかという想像をしたい ・主に講義ではデータの作り方、見方、取り扱い方、そしてその注意についての知識を身に着けることができたと思う。 ・とても分かりやすい説明でエクセルが上達しました。 ・得た知識：データリテラシーではExcelを用いて課題などを進めていくことが多く、Excelの効率的な使い方や文字入力の仕方などを学ぶことができていると思う。それに加えて、情報をグラフ化したり、それらを考察したりすることで作業をして終わりではなく中身を理解しようとする授業になっていると思う。改善事項：Excel、PowerPoint、Wordなど社会に出たときに使うようなものをまんべんなく活用し、基礎となる使い方や効率的な使用方法などを学べればと思う。 ・得た知識：Excelでデータをまとめる方法を学んだ。公的なデータなどはCSVファイルで配布されておりそれをExcelでグラフ化したり、表にしたりと、便利な方法を知ることができて今後役に立つだろうなと思った。改善事項：AIを絡めたデータの活用方法などが知られるとよいかと思った。 ・得た知識：エクセルの使い方、ビッグデータの収集・活用方法。改善事項：エクセルの使い方をもっと重視してほしい ・得た知識：データのグラフ化の仕方を学んでやり方が分かった。改善事項：もう少し授業スピードに合わせられるように日ごろから復習していく ・得た知識 得たものはExcelの表計算ソフトを用いた総計処理がわかった。改善事項 改善事項は人よりも作業が遅いのでそこを直そうと思う ・得た知識：データの保護と活用(バイアス、Cookie等)記憶に残っている理由は個人的に興味があったから。改善事項：作業で時間が逼迫していたので座学がメインでもいいと思ったが、おそらく少数派なので変える必要はないかもしれない。 ・得た知識：エクセルの基本的な使い方。社会に出ても必ず役立つ知識であるからだ。 ・得た知識：データのまとめ方とそれをグラフにする方法が記憶に残った。今後も使う可能性があるから。改善事項：自分でも情報見ている程度理解できるようにすることが必要になると思う。 ・得た知識：Excelを使って、グラフや図を作成したり、データを変換したりする知識。改善事項：作業画面をパソコンで共有できるようにしてほしいです。 ・進みが早くて追いつけないことが多かったが説明が分かりやすかった ・AIの人事採用システムとバイアスの話が記憶に残った。また、新しい角度から物事を見ることができるようになった。 ・得た知識は数字の扱いやその技術について知れたことです。改善してほしい事項はとくにありません。 ・Excelを使った表の作り方がためになった。特許の出願件数のグラフ化など自分のつきたい仕事に役立つと感じた。 ・得た知識 Excelの使い方、小技みたいなの ・得た知識：エクセルでデータを集計する技術を得た。改善事項：正しい情報を取り入れるようにする技術。 ・得た知識：データの活用などICTの基本的な知識を身に着けることができた。改善事項：統計学がビジネスにおける調査・分析において、どのように活用されるのかをより深く知りたい。また、Excel以外のPythonなどについても学びたい ・得た知識：ネットである数値をエクセルを使用してグラフで表すことが記憶に残った。この作業はこれからも資料を作る際に必要となってくると思うから、しっかり頭に入れておきたい。改善事項：特になし"
	基礎	ICTリテラシー	
	基礎	データリテラシー	

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果 2024年度【知的財産学部】 設問5

学科	項目	科目	設問5 OIT MDASHに関する授業回について、良かった点や改善してほしい事項があれば入力してください。（自由記述）
	基礎	知財情報分析	<p>・得た知識：現在も、高校において、「数学II・B」という教科があるのかわからないが、私の高校時代にはその中で「統計」という範囲が存在した。たしか、センター試験でも選択問題としても存在したはずである。しかしながら、高校教育においては、軽視されがちな印象を受けた。ただ、世の中において、「統計論」は積極的に活用されていながら、初歩的な理論すら理解できていなかった。たとえば、「偏差値」の算式を知らなかったこともその1つである。これらを手取り足取り教えていただき、かつ、Excelでの実行の仕方を学べたのは良かった。改善事項：教員の設題に対する回答としては、ただ、改善事項は特にないと考える。教員の設題とは関係なしに回答するとしたら、何らかのしづらみがあるのかもしれないが、できれば、DS回を連続させてほしい。過去に遡ってアンケートに回答するのは少し難しい。また、「情報可視化」の手法に関しては、既習の範囲でもある程度対応できるかもしれないし、教員が実施しているのを見たりもしたが、目で見ただけでなく、何らかの課題に基づいて、遊び感覚で「可視化」の作業をさせたほうが、各個人の習熟度は高まると思う(ま、結局、やる人間とやらない人間で二極化するだけか)。</p> <p>・非常に分かりやすかった。</p> <p>・可視化する方法はいくつかあり、Excelで表を作る方法もあれば、Web上で可視化することは可能だということが分かった。</p> <p>・得た知識：パテントマップを用いた、知財情報の可視化である。理由としては、就活の企業分析や会社に就職した場合でも、使えそうなど考えたから。改善事項：特になし</p> <p>・得た知識：Googleドライブにおける作業について、データをパソコン内に取り込み(プラットフォーム)、それをプログラミングの過程で挿入することができること。その理由として、パソコンないのプログラムについてなにも知らないの、勉強になったから。改善事項：情報可視化を用いた、具体的な日常で使う作業と紐付けること。</p> <p>・データの可視化に関して、データの読み取り方とデータの伝え方について講義と講義内資料を通じて知識を得ることができた。講義を通し、自分が主張したい内容に則したグラフをわかりやすく提示することを意識するようになったため、今後の講義やレポート作成に生かすことができている。</p> <p>・相関関係を数値的に捉える手法として、散布図が用いられること。これから情報を分析するときに、散布図を使えばいいという状況を一つ覚えることが出来たから。</p> <p>・データサイエンスやAIを使って現代社会がかかえる問題についてデータを分析したり予測をする。このことを自分の身近なもので授業にしてわかりやすかった。この授業をきっかけにAIとデータサイエンスに興味をもった。データを可視化し統計解析を行うことは、迅速な意思決定と情報共有がスムーズに行えることが必要になってくると考えた。</p> <p>・得た知識：分布図のやり方、統計の仕方。改善事項：実際にどのように考察したのかの実例を参考にしたい。</p> <p>・可視化することの重要性について、過去の事例や現在のシステムを用いて講義をしていたため、非常にわかりやすかった。また、単純にグラフを作成するのではなく、相手に伝わりやすいようなグラフのデザインを作る必要があることも理解することができた。一方で、知的財産に関しては、出願件数の推移等から企業の戦略を可視化することができるということは理解できるが、ノウハウや暗黙知を可視化する方法は非常に気になった。(他社のノウハウなどは社外秘になっている場合が多いため、可視化が難しいことは承知しているが、どのようなアプローチができるのか知りたいと感じた。)</p> <p>・得た知識：知的財産権の検索方法、わかりやすいグラフ作成の仕方、大量にある情報のまとめ方。改善事項：特になし</p> <p>・得た知識 データを様々な視点でグラフや図にして分析し、データに語らせることで新しい洞察やパターンを発見できること。改善事項 特になし</p> <p>・得た知識、EXCELを活用したデータの分析方法が理解できた。改善事項、講義内でのEXCELの式を作る際式の作っている最中に次の式へ行くので理解できないところがちらほらあった</p> <p>・得た知識：特許などの権利を図面化すること。改善事項：図や表のバリエーションが多く、あらゆることに活用されているため、理解が難しいと思う図もあった。</p> <p>・慣れ親しんだものではないので、すこしわかりにくい部分があるなと思いました。</p>
	心得	データリテラシー	

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【知的財産学部】

設問 1 に対する所見

前期	<p>「情報技術と特許」</p> <p>概ね「理解できた」という回答であったため、講義難易度の設定（情報の密度、選択）に問題はなかったものと思われる。すべての回答項目に言えることであるが、数%の受講生が理解できなかったと回答している。これは、一部技術的な要素が強く現れる箇所があり、前提となる知識を提供、または踏まえた形で講義を進めたが、それでも理解が期待できない者が一定数存在していた。講義時間が限られているため、あまり基礎的事項を取り扱えずと講義目的が達成できないため、非常に困難ではあるが今後の課題として捉えて内容刷新を継続したい。</p> <p>「知財情報分析」</p> <p>3年次科目ということもあり、ある程度知財知識、経営に関連する情報が備わっている前提で講義を進めた。そのテーマの中で統計、データ可視化について講義を行ったが、知財知識が乏しいことから難易度が高いと捉えられてしまったように思う。また、講義進行の中で少し浮いた講義回となったことから内容の印象が残りにくいようにも思われるため、シラバスを再考するタイミングで調整も図りたい。</p>
後期	<p>「ICTリテラシー」</p> <p>「理解できた」者が半数を占めるものの、全体平均に対して「理解できなかった」学生の比率が高い。できるだけ基礎に特化して講義・演習を実施したが、一部学生から講義レベルの低さに対する指摘があったほどであり、難易度調整が安定しなかったことに起因すると思われる。録画データや関連資料を提供するなど、復習素材を充実させていたが効果は得られず、講義実施時に理解できずに投げ出してしまった学生がいたことが予想され、今後の課題として踏まえておきたい。</p> <p>「データリテラシー」</p> <p>概ね「理解できた」という回答であるが、「まったく理解できない」者が少なからず存在するため、講義内容を全体的に見直す必要がある。前半に統計を実施しておりこの内容が難易度が高かった可能性があるが、学生の理解度チェックをより綿密に行う必要がある。</p>
年度総括	<p>文系学部におけるデータ・AI教育ということで、内容を簡易化するなどの工夫により実施されたようである。しかし、分かりにくいと回答する者が多く存在するため、アプローチが十分ではないと判断される。初歩的な問題ではあるが、改めて講義担当にはただ講義するだけでなく、教育者自身が知識をよくかみ砕いて講義をするよう指導をする。</p>

設問 2 に対する所見

前期	<p>「情報技術と特許」</p> <p>全体としてICTの理解を深める科目であるため、文系学生においても興味を惹きだすことが可能であったと思う。また例年の反省から、できるだけAI、IoTと実社会との関連、AIの動作を確認できる事例を含めたことがポジティブに働いたものと判断している。</p> <p>「知財情報分析」</p> <p>統計処理として正規分布、可視化として様々な表現手法を盛り込んだことで、興味を惹くことが出来たと考えている。過去には数的処理を軸にしていたが、今年度はできるだけ事例を観察する方針に切り替えた。その結果、理解を深めることは難しくとも関心を惹く内容になったものと思われる。</p>
後期	<p>「ICTリテラシー」</p> <p>AIを積極的に活用する回も設けたため、興味を持った学生は多かったものと思われる。ただし、講義内容ではなく近年のAI発展による目新しさの影響であり、講義担当者の能力によるところではない。今後、AIツールがより一般化した際に、どのような形でAIを適切に活用するスキルを伝達できるかが今後の課題である。</p> <p>「データリテラシー」</p> <p>データ分析はExcel、グラフや調査にAIを活用する手法を取り入れたため、ICTリテラシーと同様の理由で興味を惹いたものと考えられる。そのような状況下であるにも関わらず、興味を持っていない者が一定数存在することは問題であるため、今後の課題とした。</p>
年度総括	<p>データサイエンス・AIの興味を惹くことは、ある程度数的処理、ICT活用に興味があることが求められる。しかし、当科目群はその内容を主とした科目名称であり、受講生はそもそもその領域を学びたいとして受講している者である。よって、関心が高まらないという結果があることはあり得ないことであるため、講義内容の刷新を進めることを担当者へ要求する。</p>

設問 3 に対する所見

前期	<p>「情報技術と特許」</p> <p>設問 2 に連動した質問であるため、同様の傾向となっている。知的財産学部では、特許情報、ビジネスモデル特許を取り扱う場面があるため、その意味でデータ分析スキルの重要性、AIの知識や活用を考えてもらえたと捉えている。</p> <p>「知財情報分析」</p> <p>MDASHに該当しない講義回が多いものの、全体として情報分析を対象とした科目であり、そのため、データサイエンススキル獲得の重要性は理解しやすかったものと思われる。</p>
後期	<p>「ICTリテラシー」</p> <p>設問 2 と同様に、現代の状況下で重要性が伝わらない者が大多数いることは通常考えられないことであり、その要因を十分精査する必要がある。データサイエンスやAI活用が一般社会で重視されていることを阻害する内容が何であったのかを明らかにし、講義内容の見直しを検討する。</p> <p>「データリテラシー」</p> <p>ある程度重要性を伝達できている一方で、一般的にデータサイエンスの重要性が謳われる中で重要性が高まらない者が多数存在する。知財においてIPランドスケープなどでデータを取り扱うことは重要事項である中で意識を下げた結果は避けなければならないため、重要性を高める施策を検討したい。</p>
年度総括	<p>文系学生とはいえ、知財専門家を目指す者は技術的な観点が必要となる。また、知財情報にはデータサイエンスやAI活用の知識が必須であるため、基本的に全員が「かなり高まった」と回答する結果が基本である。その点の重要性を担当者には十分理解させ、今後の講義刷新に務めるよう指導を行う。</p>

OIT MDASH（リテラシー）自己点検 独自アンケート結果等 2024年度【知的財産学部】

設問4 に対する所見

前期	<p>「情報技術と特許」</p> <p>情報技術をできるだけ簡易化した内容で講義を進めたが、一部、難解な箇所もあったと考えられる。特にAIについては、ニューラルネットやビジネスモデルを無視することが出来ず、その点で分かりやすさを達成できなかった箇所もあったように思う。全体としては、社会の変革を捉えて考えられるレベル感であったと捉えている。</p> <p>「知財情報分析」</p> <p>正規分布の箇所は、数学的にイメージする必要があるため理解できない箇所もあったと考えられる。Excelを利用した作業を伴わせることで実感として知る方策を取ったが、難しさを払拭するに至らなかった。可視化のパートは、事例を見ることに徹したため、理解はしやすかったと思われる。今後刷新を図りつつ、より理解しやすい講義内容にしたい。</p>
後期	<p>「ICTリテラシー」</p> <p>分かりやすいと思わない者がいるということは、進行方法、難易度を調整する必要性を示している。また、AIやExcel関数の活用などが初歩的過ぎて講義内容のレベルが低すぎるという指摘も多い。難易度の高低の両面に対応できる講義設計が必要であり、今後の授業実施方法について刷新が必要である。また、担当者の日本語理解力に関する指摘があり、この点については自身の録画データを見直すなどして対応を図りたい。</p> <p>「データリテラシー」</p> <p>ICTと同様に分かりにくいという者が存在することを改善するために、ICTと同様のアプローチで刷新が必要となる。自由記述においても講義進行に対する問題の指摘が多く、要改善事項として次年度に生かしたい。</p>
年度総括	<p>技術的な要素を持つ講義を興味のない文系学生へ伝達する難しさはあるものの、基本的な教養・ICT活用スキルは立場を問わずに身につけるべきものである。その重要性を十分踏まえた講義展開をしつつ、かつ講義内容の分かりやすさと学生の知的好奇心を同時に満たす内容を再検討するよう講義担当者に努めさせる。</p>

プログラム概要

数理・データサイエンス・AI について関心を持ち、適切に理解し、それらを活用する基礎的な力を育成することを目的としたプログラムです。

身につけることができる力

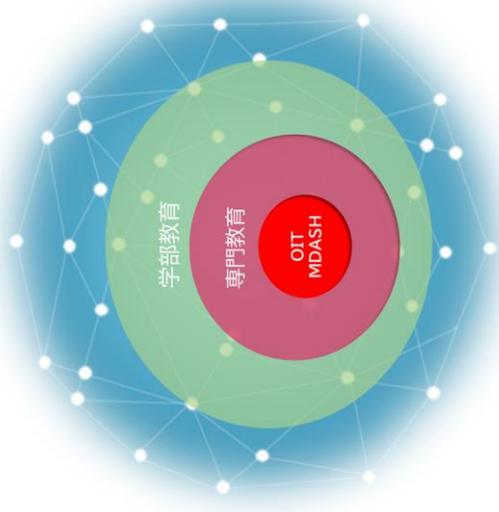
本プログラムを通して、情報技術の発達により社会や生活が変化していることやAI・データサイエンスによって広範囲の領域で新しい価値が創出されていることを学修し、データに対する基本的な分析方法(基本統計量の導出、グラフ作成、誤差を伴う解釈方法)を学ぶとともに、データの取り扱いに関して誤解せず、また人に誤解を与えないための基礎知識を身につけることができます。さらに、AI・データサイエンスを利用するために欠かせないモラルや倫理を身につけることができます。

修了要件

工学部	プログラムを構成する科目のうち次の要件①②いずれも満たすこと。 ①「キャリアデザイン」および「基礎情報処理Ⅱ」を修得すること。 ②以下の科目群のうち1科目以上を修得すること。 「技術者倫理」・「工学倫理」・「情報社会と倫理」・「環境倫理」・「キャリア形成支援」
ロボティクス & デザイン 工学部	プログラムを構成する科目の次の3科目を修得すること。 「基礎情報処理」・「工学倫理」・「確率・統計学」
情報科 学部	プログラムを構成する科目の次の3科目を修得すること。 「コンピュータ入門」・「情報技術者論」・「確率・統計」
知的財産 学部	プログラムを構成する科目のうち次の要件①②いずれも満たすこと。 ①「ICTリテラシー」および「データリテラシー」を修得すること。 ②「情報技術と特許」または「知財情報分析」いずれかを修得すること。

本教育プログラムの特色

- 各学部の専門教育と有機的に連関させたデータサイエンス教育
- 情報科学部データサイエンス学科を中心とするIT専門教員が教材コンテンツを開発
- 学生個々の学力に応じた修学指導により本教育プログラムの履修を促進



「OIT-MDASH(リテラシー)」 大阪工業大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)補足資料 カリキュラム表

カリキュラム表

分類	プログラム学修内容	数理・データサイエンス・AI教育プログラム 科目群		
		1年次	2年次	3年次
導入	<p>キャリアデザイン 基礎情報処理Ⅱ 基礎情報処理 コンピュータ入門 ICTリテラシー</p> <p>(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く着目しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついていることを学ぶ。</p>	<p>キャリアデザイン 基礎情報処理Ⅱ 基礎情報処理 コンピュータ入門</p> <p>ICTリテラシー</p>	<p>情報技術と特許</p> <p>データリテラシー</p>	
	<p>社会におけるデータ・AI活用</p> <p>(2)社会で活用されているデータや「データの活用領域」は非線形に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るものであることを学ぶ。</p>	<p>キャリアデザイン 基礎情報処理Ⅱ 基礎情報処理 コンピュータ入門</p> <p>ICTリテラシー</p>		
	<p>データ・AI活用における留意事項</p> <p>(3)様々なデータ活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせて価値を創出することを学ぶ。</p>	<p>キャリアデザイン 基礎情報処理Ⅱ 基礎情報処理 コンピュータ入門</p> <p>ICTリテラシー</p>	<p>キャリア形成支援 工学倫理 データリテラシー</p>	<p>技術者倫理 工学倫理 情報社会と倫理 環境倫理 情報技術者論</p>
心得	<p>データ・AI活用における留意事項</p> <p>(4)活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報保護等、データを守る上で留意事項を学ぶ。</p>	<p>工学倫理</p> <p>基礎情報処理Ⅱ ICTリテラシー</p>	<p>確率・統計学 確率・統計 データリテラシー</p>	<p>確率・統計 知財情報分析</p>
基礎	<p>データリテラシー</p> <p>(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、データの読み、説明する、扱うといった基本的な活用法を学ぶ。</p>	<p>基礎情報処理Ⅱ ICTリテラシー</p>	<p>確率・統計学 確率・統計 データリテラシー</p>	<p>確率・統計 知財情報分析</p>

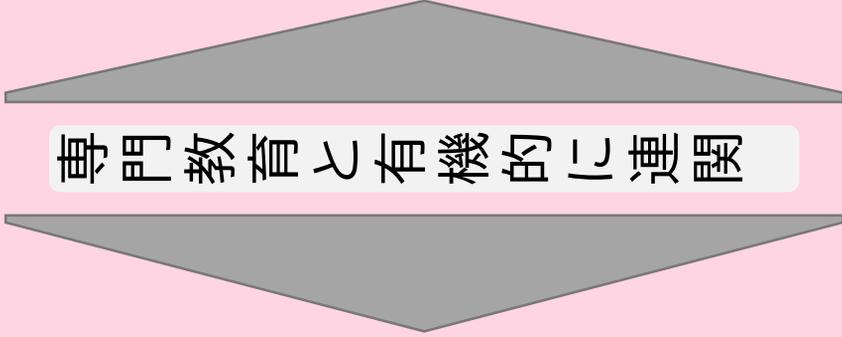
- 工学部開講科目
- ロボティクス&デザイン工学部開講科目
- 情報科学部開講科目
- 知的財産学部開講科目

()内には表示は開講学科の略号を示す。

- C:工学部 都市デザイン工学科 A:工学部 建築学科 M:工学部 機械工学科
- E:工学部 電気電子システム工学科 D:工学部 電子情報システム工学科 K:工学部 応用化学科
- V:工学部 環境工学科 U:工学部 生命工学科
- ID:情報科学部 データサイエンス学科 IC:情報科学部 情報知能学科 IS:情報科学部 情報システム学科
- IM:情報科学部 情報メディア工学科 IN:情報科学部 ネットワークデザイン学科



選択
統計及び数理基礎
アルゴリズム基礎
データ構造とプログラミング基礎
時系列データ解析
テキスト解析
画像解析
データハンドリング
データ活用実践(教師あり学習)



専門教育と有機的に連関

